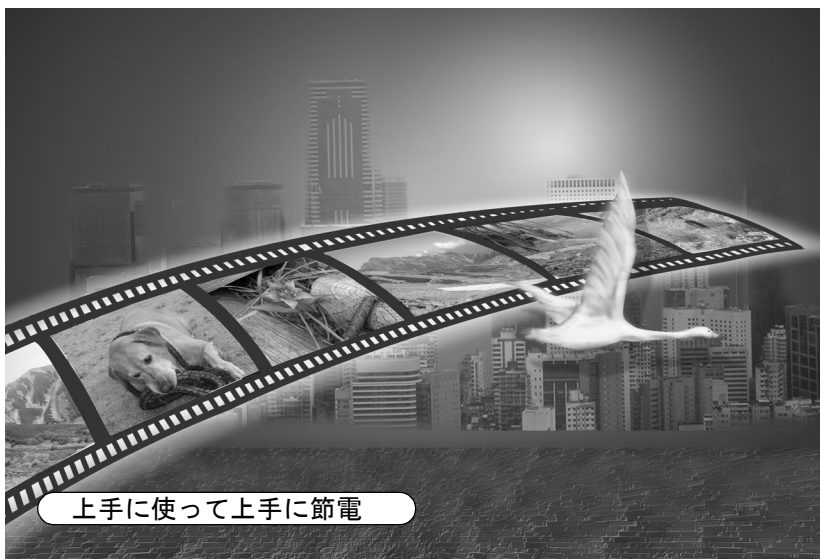
Panasonic

SD マルチカメラ

取扱説明書

品番 SV-AV30

WiLL D-snap

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、SD マルチカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

VQT0A58-1

もくじ

はじめに・安全

準備

使ってみよう

より楽しく

パソコンで

便利な情報

ソフトウェア使用許諾書

同梱のソフトウェアについては、「ソフトウェア使用許諾書」の内容を承諾していただくことが使用の条件になっています。

第１条　権利

お客様は松下電器産業株式会社より以下の条件に基づき本ソフトウェア（ＣＤ − ＲＯＭ、及びマニュアルなどに記載された情報をいいます）を日本国内で使用する権利の承諾を受けますが、著作権がお客様に移転するものではありません。著作権は松下電器産業株式会社及び松下電器産業株式会社へのライセンス許諾者が所有します。

第２条　第三者の使用

お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェア及びそのコピーしたものを第三者に使用許諾あるいは貸与させることはできません。

第３条　コピーの制限

本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第４条　使用コンピューター

本ソフトウェアは、コンピューター１台に対しての使用とし、複数台のコンピューターで使用することはできません。

第５条　解析、変更または改造

本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証をいたしません。また解析、変更または改造の結果、万一お客様に損害が生じたとしても弊社および販売店等は責任を負いません。

第６条　アフターサービス

弊社の指定する窓口まで電話または FAX にてお問い合わせください。
お問い合わせの本ソフトウェアに関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良などの情報をお知らせいたします。
なお、本ソフトウェア仕様は予告なく変更することがあります。

第７条　免責

本ソフトウェアに関する弊社の責任は、上記第６条のみとさせて頂きます。
本ソフトウェアのご使用にあたり生じた、お客様の損害および第三者から
お客様になされた損害賠償等の請求による損害について、弊社および
販売店等は一切責任を負いません。

第８条　輸出管理

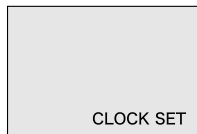
お客様は、本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、日本国及び米国の輸出管理に関連する法規を遵守してください。

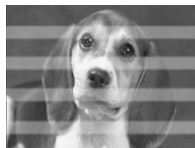
第９条　その他

上記第６条のアフターサービスには、ご愛用者登録が必要です。

ご使用前に

■ **年月日・時刻設定について**

お買い上げ時は、年月日・時刻設定はされておりません。最初に電源を入れると、右記の画面が表示されますので、最初に時刻設定を行ってください。(P26)

■ **エリア設定について**

蛍光灯照明下で、右図のような明暗の横しまが画面に出ることがあります。この場合、横しまを軽減させるため、エリア設定(電源周波数の50 Hz／60 Hzの切り換え)を行ってください。(ご購入時は50 Hzです)
電源周波数はご使用の地域により異なります。(P27)

付属品

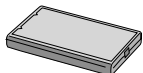
下記の部品が入っているか、ご確認ください。(品番は2002年11月現在のものです)

1 AV クレードル
VSK0628

2 バッテリーパック

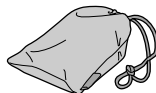
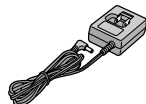
3 AC アダプター
VSK0625

4 SD メモリーカード (8 MB)
RP-SD008B-A

5 映像 / 音声コード (2 本)
K2KC4CB00005

6 ハンドストラップ
VFC3803

7 ステレオインサイドホン
L0BAB0000173

8 リモコン
N2QCBD000029

9 キャリングケース
RFC0069-H

10 CD-ROM
(USB ドライバー /SD-MovieStage)

11 USB ケーブル
K2KZ4CB00002

はじめに

- 大切な撮影前には、必ず事前に試し撮りを行い、正常に記録されていることを確かめてください。
- 本機およびカードなどの不具合で記録されなかった場合の内容の保証についてはご容赦ください。
- あなたが撮影(録画など)、録音したものは、個人として楽しむ以外には、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、お気を付けください。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロビジョン社の許可が必要です。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。
- 他機で記録、作成した内容の本機での再生、本機で記録した内容の他機での再生はできない場合がありますので、あらかじめお確かめください。
- Microsoft®、Windows®、DirectX®、Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における商標または、登録商標です。
- Adobe®、Adobe Acrobat® および Acrobat Reader™ は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国および/または各国での商標または登録商標です。
- Intel®、Celeron™ は Intel Corporation の各国での登録商標もしくは商標です。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- 本書内の製品姿図・イラストは実物と多少異なりますが、ご了承ください。
- 本機で使用できるのは SD メモリーカードです。(マルチメディアカードのご使用については保証いたしません)
- (SD ロゴ)は商標です。
- 本書では参照いただくページを(P00)、➜P00 で示しています。
- 本書ではバッテリーパックのことをバッテリーと記載しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

MPEG Layer-3 audio decoding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson multimedia.

特長

■撮る　動画・静止画撮影時に縦撮り・横撮りができるダブル REC ボタン搭載

１秒間に表示する画像（フレーム数）が約 15 枚で、より自然な動画を撮影できます。（スーパーファインモード時）

■録る　AV 入出力端子・充電機能付き AV クレードル付属

AV クレードルとご家庭のテレビやアナログ映像機器をつないでおけば、テレビ番組録画や再生が楽しめます。

■見る　見やすい新ビューワースタイル & スピーカー内蔵

2 型 20 万画素のカラー液晶モニターで、録画したテレビ番組などを通勤・通学の電車内などで楽しめます。

■聴く　音楽再生に便利なリモコン付きステレオインサイドホン付属

バックやポケットに入れたままで再生操作ができるリモコン付きです。
SD オーディオ PC レコーディングソフト /SH-SS10（別売）を使って、SD メモリーカードに記録した高音質の音楽ファイルが楽しめます。

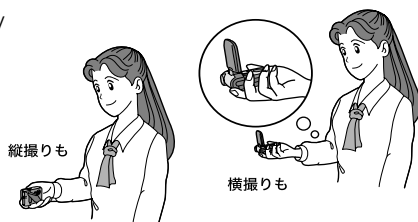
■楽しさ広がる別売アクセサリー

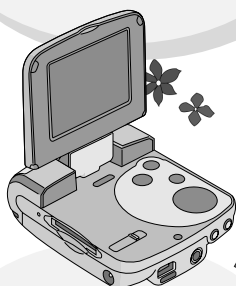
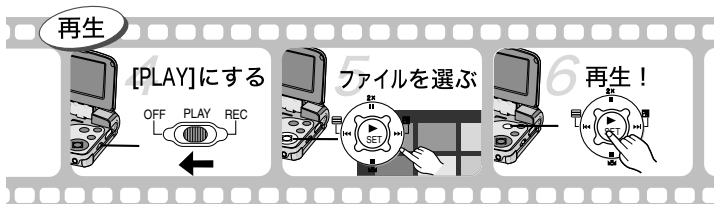
・SD モバイルプリンター/SV-P30
・バッテリーパック /VW-VBA10（900 mAh）
・バッテリーチャージャー/VW-BCA1
・SD オーディオ PC レコーディングソフト /SH-SS10（「SD-Jukebox Ver. 3.0」）
* 音楽を記録するには、「SD-Jukebox Ver. 3.0」が必要です。

■ホームページアドレスへのアクセスをお待ちしております

パナソニックのホームページをご覧ください。

商品情報について
http://www.panasonic.co.jp/

サポート情報について
http://www.panasonic.co.jp/customer/

簡単ガイドと主な機能

詳しくは、本文をお読みください。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です）

絵表示	内容
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

バッテリーを炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない

禁　止

液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

⚠危険

バッテリーを分解、加工(はんだ付けなど)、加圧、加熱、火中投入などをしない

液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

●不要(寿命)になったバッテリーについては 58 ページをご参照ください。

バッテリーの端子部(⊕と⊖)に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない

液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

●ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

⚠警告

電源プラグのほこりなどは取る

湿気などでショートや絶縁不良となり、火災・感電につながります。

●プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
●プラグは時々点検してください。

電源プラグは、根元までしっかりと差し込む

接触不良で火災・感電につながります。

●いたんだプラグやゆるんだコンセントは、使わないでください。
●プラグは時々点検してください。

⚠警告

煙が出ている、異常に熱い・におい・音がするときなどは、使うのをやめ、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

火災・感電につながります。

- バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。
- 販売店にご相談ください。

内部に水や異物などが入ったときや外装ケースが破損したときは、使うのをやめ、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

火災・感電につながります。

- バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。
- 販売店にご相談ください。

自動車など、乗り物を運転しながら使わない

禁止

事故の誘発につながります。

- 歩きながら使うときも、周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

雷が鳴り出したら、本機の金属部やACアダプターなどの電源プラグに触れない

接触禁止

落雷すると、感電につながります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠警告

内部に金属物や燃えやすいものなどを入れない

火災・感電・故障につながります。

●乳幼児にご注意ください。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かない

落下すると、けがや製品の故障につながります。

不安定な状態で使わない

転落すると、死亡や大けがにつながります。

●安定した足場、安定した体勢を確保してください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電につながります。

●必ず、乾いた手で持ってください。

フラッシュの発光部分を手で触らない

フラッシュの発光後、発光部分に触れると、やけどの原因になります。

⚠警告

水をかけたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

内部に水が入ると、火災・感電・故障につながります。

●水が入ったときは、販売店にご相談ください。
●雨天、降雪中、海岸、水辺など、水がかかりやすいところで使うときは、ぬらさないようにご注意ください。

電源コードやプラグを破損させない

禁　止

無理なねじり、引っ張り、加工、重いものの下敷きなどは、コードの破損の原因となり、火災・感電につながります。

●破損したときは、使うのをやめ、販売店にご相談ください。

分解や改造をしない

分解禁止

火災・感電・故障につながります。

●修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。
●お手入れ時で、部品の取り外しや取り付けなどが必要な場合は、説明書の指示に従ってください。

交流100ボルト〜240ボルト以外では使わない また、配線器具の仕様をこえる使いかたをしない

禁　止

たこ足配線などの場合も、過電流で発熱し、火災・故障につながります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠注意

コードを持って抜かない コードを無理に曲げたり、引っ張ったりしない

禁 止

コードや機器の破損の原因となります。

●必ず、プラグ部分を持って、まっすぐ抜いてください。

コードが張った状態で使わない

禁 止

コードにつまずいて転倒したり、機器が損傷するおそれがあります。

付属のUSBケーブルはUSB接続端子以外には接続しない

禁 止

ケーブルや機器の破損の原因となります。

●必ず、USBケーブルを接続する前に、使用機器の端子がUSB用であることを確認してください。

⚠注意

高温になるところに放置しない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60 ℃以上）になります。SD マルチカメラ、バッテリーなどを絶対に放置しないでください。熱で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると火災・感電のおそれがあります。

お手入れの際や長期間使わないときは、安全のため、電源プラグを抜く

誤って内部に触れると、感電するおそれがあります。また、通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、火災につながるおそれがあります。（カード保護のため、カードも取り出しておいてください）

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼすおそれがあります。

●病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

本機の上に重いものを置いたり、のったりしない

重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・感電・故障のおそれがあります。

⚠注意

指定以外のバッテリーを使わない

指定以外のバッテリーを使うと、液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

充電中や使用中は、機器の上に布などをかぶせない

熱で外装ケースが変形し、内部が発熱すると、火災・感電・故障のおそれがあります。

フラッシュ発光中に近くで発光部を直接見ない

強い光により、目をいためるおそれがあります。

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災のおそれがあります。

SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込む恐れがあります。

●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠注意

ACアダプターのコードを持って抜かない

コード破損の原因となり、火災・感電のおそれがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多いところ、振動が激しいところでは使わない

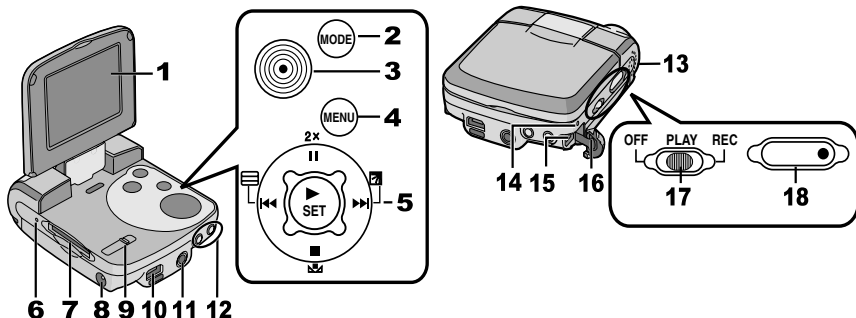
水やほこりが入ったり、振動などで内部部品が損傷すると火災・感電のおそれがあります。

- ３年に一度ぐらいは、販売店に点検をご相談ください。(特に湿度が高くなる梅雨期の前に点検をすると、効果的です)
- 費用についても、そのときお確かめください。

バッテリーが液漏れしたときは:

- 万一、液漏れが発生し、液が手や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ったときは、 失明のおそれがあります。 目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

各部の名前と働き

本機のボタン・端子などです。詳しくは、関係するページをお読みください。

1　**液晶モニター**(P22、45)

2　**モード切換ボタン[MODE]**(P24)
押すごとに動作モードが切り換わります。

3　**記録 / 停止ボタン**(P28、30、32)
静止画・動画・音声の記録 / 記録停止を行います。

4　**メニューボタン[MENU]**(P25)
メニュー画面を表示します。

5　**多機能ボタン**
以下のような操作を行います。
- メニューの選択・設定
- 再生モード時の操作
- 再生ファイルの選択
- 逆光補正など、画像記録時の補助機能

6　**カード動作中ランプ**(P22)
カードへアクセス中に点灯します。

7　**カード挿入口**(P22)

8　**DC 入力端子[DC IN 4.8V]**(P21)
AC アダプター(付属)をつなぎます。

9　**カード取出しレバー**
[CARD EJECT ▶](P22)
カードを取り出します。

10 **AV クレードル用コネクター**(P20)
AV クレードル(付属)に付けるときに使います。

11 **ヘッドホン端子 / リモコン端子 [Ω]**
(P23)

12 **ボリュームボタン[ーVOL ＋]**
(P35)

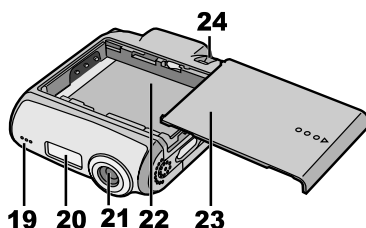
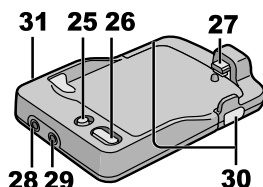
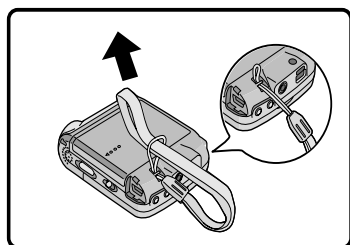
13 **スピーカー**

14 **電源ランプ**

15 **USB 接続端子**
パソコンのUSB端子とつなぎます。

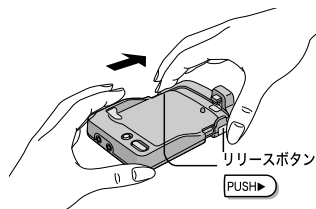
16 **USB 接続端子カバー**

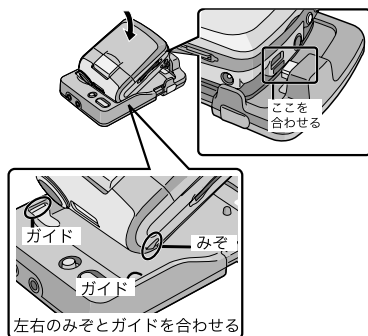
17 **電源 / 記録・再生モード切換スイッチ[OFF/PLAY/REC]**
- 電源を切 / 入します。(P24)
- 記録・再生モードを切り換えます。

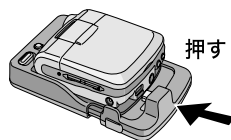
18 **記録 / 停止ボタン**(P28、30、32)
3 と同じ機能です。本機を縦にして記録するときや液晶モニターを閉じてボイス録音するときに使います。

［AVクレードル］

19 **マイク（モノラル）**（P32）
音声・動画の記録時に使います。
20 **フラッシュ発光部**（P28）
21 **レンズ**
22 **バッテリー取付部**（P21）
23 **バッテリーカバー**（P21）
24 **ハンドストラップ取付部**
ハンドストラップ（付属）を取り付けます。

［AV クレードル］
25 **AV 出力切換スイッチ**（P36、38）
映像・音声の出力を切り換えます。［LCD MONITOR］にすると本機に映像・音声が出力されます。［AV OUT］にすると、外部機器に映像・音声が出力されます。（本機のモニターは消灯します）
26 **AV 入力切換スイッチ**（P36、38）
外部入力映像・音声を記録するときは、［AV IN → SD］にします。
27 **本体接続用コネクター**（P20）
10 に差し込んで、本機を付けます。
28 **映像 / 音声出力端子［AV OUT］**（P36）
テレビなど外部機器に本機の映像・音声を出力するとき使います。
29 **映像 / 音声入力端子［AV IN］**（P38）
テレビなど外部機器の映像・音声を本機で記録するときに使います。
30 **リリースボタン［PUSH▶］**（P20）
本機を付け外しするときに使用します。
31 **DC 入力端子［DC IN 4.8V］**（P21）

AV クレードルに付ける

AV クレードルに付けると、充電や映像の再生に便利です。
また、テレビや外部音声機器で映像・音楽が楽しめます。

1 左右のリリースボタンを押しながら、AV クレードルを引きのばす

2 本機をのせる

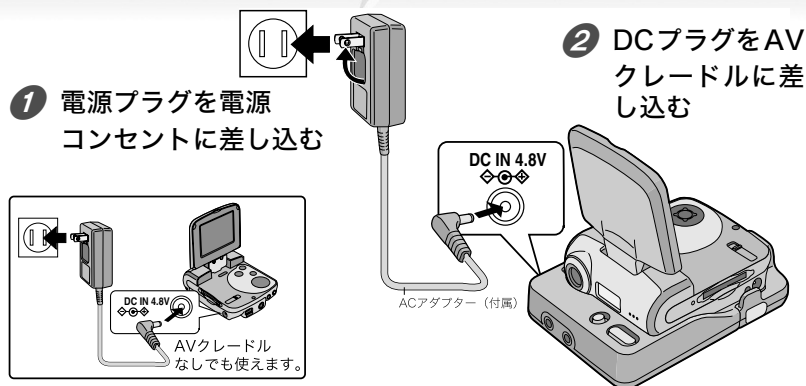
- AV クレードルの本体接続用コネクターが本機の AV クレードル用コネクターに合うように置きます。

3 AV クレードルを押して (縮めて)、固定させる

- 「カチッ」と音がするまで押します。

4 必要に応じてコードをつなぐ

- AC アダプターを付ける(電源供給)➜ 右ページ
- テレビなどの外部機器で映像を見る ➜ P36
- 外部機器の映像を記録する ➜ P38

- AV クレードルに付けるときは、本機の電源は [OFF] にしてください。
- AV クレードルにつなぐと、カメラの映像は記録できません。
- 本機に AC アダプターが接続されていると、AV クレードルに付けられません。

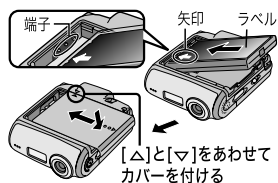
電源コンセントにつないで使う

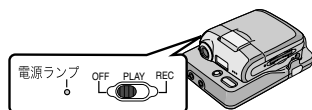
接続後に、電源を入れると本機が使えるようになります。

バッテリーを入れる / 充電する

バッテリーを使うと、屋外や電源コンセントのない場所でも、記録･再生ができます。 **充電時は、本機の電源を[OFF]にしておいてください。**

❶ カバーを外す

❷ バッテリーの矢印に合わせて入れる

●入れたあとはカバーを元どおり付けます。

❸ 電源コンセントにつなぐ（上記参照）

●電源ランプが点滅し、充電が始まります。消灯したら、充電完了です。

●AC アダプター使用時も、バッテリーを入れておくことをおすすめします。

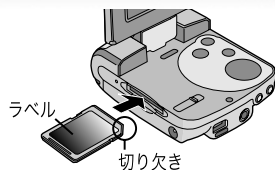
●点滅速度が速い / 遅いときは ➜ P60

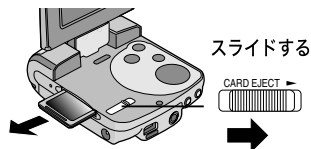
●付属のバッテリー1 本あたりの充電時間は約 2 時間です。

●充電時間･記録時間のめやす ➜ P62

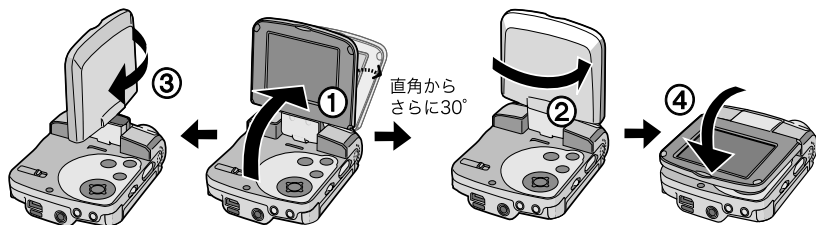
カードを入れる

カードの出入れ時は必ず電源を[OFF]にしてください。

1 カードを奥までまっすぐ押し込む

■ カードを取り出すとき

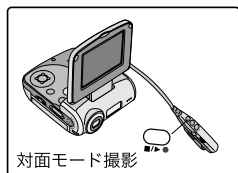
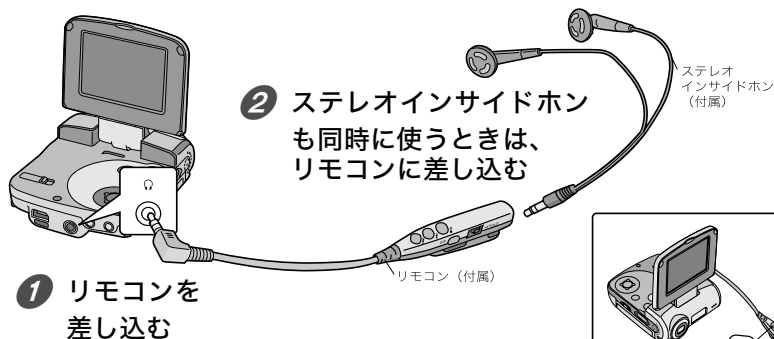
カード取出しレバーをスライドし、まっすぐ水平に引き抜く

液晶モニターを使う

本機は液晶モニターを見ながら、映像を記録します。

1 角度を調整する

① 方向に 120°、② 方向に 180°、③ 方向に 90° まで回転します。それ以上回すと、本機の故障につながります。

- 本機では SD メモリーカードが使えます。
- カード動作中ランプ(P18)が点灯中はカードを抜いたり、電源を外さないでください。
- 液晶モニターの明るさ・色の濃さを調整するには ➜ P45
- ④ のときは、ボタン操作にリモコンをお使いください。(P23)

リモコン / ステレオインサイドホンを使う

リモコンを使うと、本機から離れて、記録・再生ができます。
対面モード撮影に使う、音楽を聴くときに 便利です。

■ リモコンのボタンについて

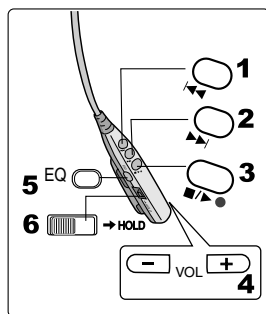
1　[|◀◀] ボタン
前のファイルを選んだり、ファイルを
早戻しします。

2　[▶▶|] ボタン
次のファイルを選んだり、ファイルを
早送りします。

3　[■ /▶ ●] ボタン
[REC]モード時は映像・音声を記録/停止します。
[PLAY]モード時は映像・音声を再生 / 停止します。

4　[ーVOL +]ボタン
再生音量を調整します。

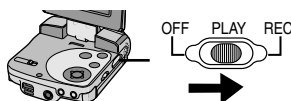
5　イコライザー[EQ]ボタン（P35）
音楽(MUSIC)を聴くとき、音質を選びます。
迫力のある重低音 (S-XBS) や耳に優しい TRAIN モードに設定できます。

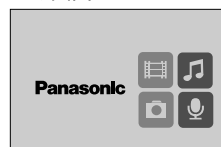
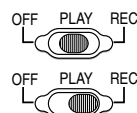
6　ホールドスイッチ[HOLD]
[➜HOLD] にすると、ボタン操作を
受け付けません。
(本体側のボタンはロックされません)

- リモコンを付けずに、ステレオインサイドホンを直接本体に付けることもできます。
- ステレオインサイドホン/リモコンを付けると、スピーカーからは音声が出ません。
- 本機が[OFF]でない場合(スタンバイ状態のとき)、リモコンの[■/▶●]ボタンを押すと、電源が入ります。
- イコライザー[EQ]は音楽ファイルの再生時のみ働きます。(P35)

電源を入れる / 動作モードを選ぶ

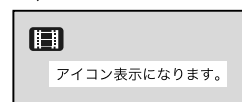
電源を入れて、動作モードを選びましょう。
(次に電源を入れたときに、前に選んだ動作モードを記憶しています)

❶ スライドする

●電源が入り、電源ランプが点灯します。

しばらく
お待ちください。

起動画面

❷ 再生モードにするには[PLAY]
記録モードにするには[REC]にする

❸ [MODE]を押して、動作モードを選ぶ

●押すごとに、以下のようにモードが切り換わります。

再生モード[PLAY]
PICTURE➜MPEG4➜VOICE➜MUSIC➜PICTURE
記録モード[REC]
PICTURE➜MPEG4➜VOICE➜PICTURE

■ 本機の動作モード

静止画 [PICTURE](ピクチャー): 記録 [REC] ：静止画（JPEG 形式）で画像を記録
再生 [PLAY] ：JPEG 形式で記録した静止画を再生

動画 [MPEG4](エムペグフォー): 記録 [REC] ：MPEG4 形式で映像（音声）を記録
再生 [PLAY] ：MPEG4 形式で記録した映像（音声）を再生

音声 [VOICE](ボイス): 記録 [REC] ：音声（VOICE）を記録
再生 [PLAY] ：記録した音声（VOICE）を再生

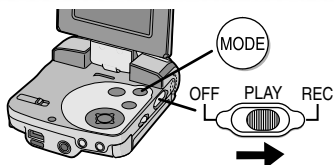
音楽再生 [MUSIC](ミュージック): SDオーディオPCレコーディングソフト（SD-Jukebox Ver. 3.0）（別売）で記録した音楽データを再生
（本機では再生 [PLAY] のみできます）

●10 分以上操作しないと、自動的に電源が切れます。一度電源を[OFF]にして電源を入れ直してください。

メニュー画面を操作する

本機の機能の多くは、メニュー画面で設定します。
（メニューの各項目の詳細について ➜ P54）

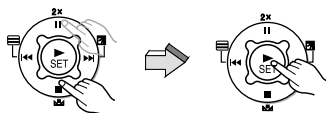
❶ 動作モードを設定する (P24)

●設定したモードで使用可能なメニューが操作できます。

❷ [MENU]を押す

●[SETUP MENU]が表示されます。
（ファイルの再生中は表示されません）

MPEG4・[REC]モードの例

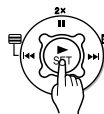
❸ 多機能ボタンの上下を押して、項目を選び、[▶ SET]を押す

SETUP MENU
記録モード ファイン
お知らせ音 入
自動録画設定
初期設定
表示設定
戻る
MENU：終了

❹ （項目を選んで設定する場合）

多機能ボタンの上下を押して、項目を選び、左右を押して、設定する

（項目を実行する場合）
多機能ボタンの上下を押して、設定項目を選び、[▶ SET]を押す

項目を選ぶ

設定

・項目の実行
・サブメニューへ
（P54、55）

❺ [MENU]を押す

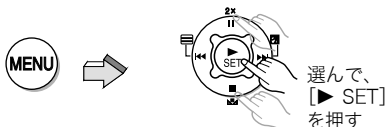
●メニュー画面が消えます。

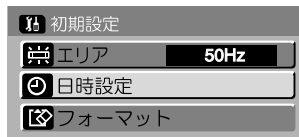
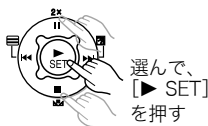
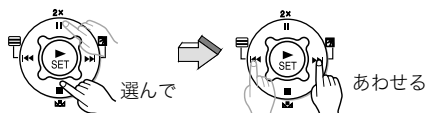
準備

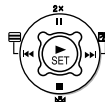
年月日・時刻を合わせる

ご購入時に年月日・時刻は設定されておりません。([CLOCK SET]と表示されます)ご使用前に設定してください。

❶ [REC] にする

❷ [MENU]を押して[初期設定]を選ぶ

MPEG4 モードの例

❸ [日時設定]を選ぶ

❹ [年]を選び、設定する

❺ 手順 ❹ と同様に、[月]、[日]、[時]、[分]を設定する

- 設定後、[MENU]を押すと設定画面が消えます。
- 時間は 24 時間表示です。

内蔵日付用電池を充電する

年月日、時刻は内蔵電池を使って記憶させています。[CLOCK SET]と表示されたときは、以下の方法で充電したあと、年月日・時刻を合わせてください。

❶ バッテリーを外し、AC アダプターを接続する (P21)

❷ 本機の電源を[OFF]にしたまま、約 12 時間、そのままにしておく

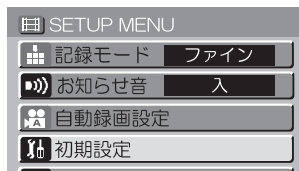
- 内蔵電池が充電されます。

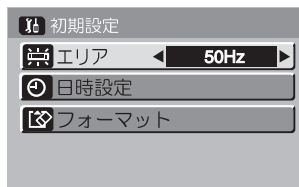
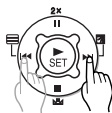
エリア設定を行う

蛍光灯照明下で出る明暗の横しまを軽減させることができます。(P5)

1 [REC] にする

2 [MENU] を押す

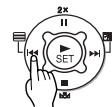
3 [初期設定]を選ぶ

MPEG4 モードの例

4 [エリア] が選ばれているのを確認して、[50Hz] または [60Hz] に設定する(下記参照)

5 [MENU]を押す

- メニュー画面が消えます。

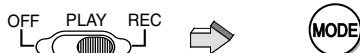
■ エリア設定で補正できない横しまを軽減するには(横しま軽減モード)

動画・静止画の記録モード時に、[ ]を約 1 秒押す

(再度押すと、解除されます)

- 日本では、静岡県の富士川を境に東西で電源の周波数が異なります。 東日本では [50Hz]、西日本では [60Hz] に設定してください。
- 屋外で記録するときは、横しま軽減モードを解除してください。(画面が白くなることがあります)
- 電源を切ると、横しま軽減モードは解除されます。

静止画を撮る

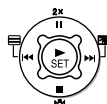
カードに静止画を記録します。

❶ [REC] にし、[PICTURE] モードに設定する (P24)

❷ [MENU] を押す

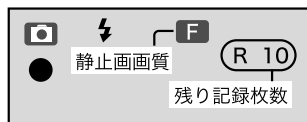
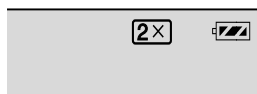
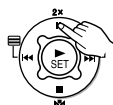
❸ [静止画画質] を希望の設定にする

- [ファイン]、[ノーマル]、[エコノミー]から選びます。

❹ [フラッシュ] を使うには、 [フラッシュ]を[入]または[オート]にする

- 設定後、[MENU]を押します。

❺ 記録 / 停止ボタンを押す

- 静止画がカードに記録されます。

または

■ 2 倍ズームで撮るときは
[2 ×] を約 1 秒押す

(再度押すと、通常の倍率に戻ります)

■ 直前に記録した映像を確認するには
[▶ SET] を押す

(約 5 秒間表示します)

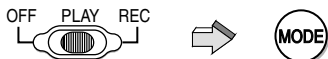
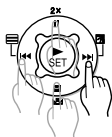
- 確認画面表示中に[MENU]を押すと[ファイル消去] 画面が出ます。[はい]を選び、[▶ SET]を押すと、その画像を消去できます。

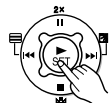
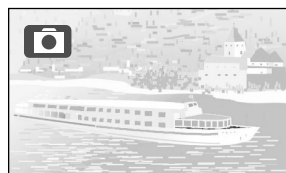
- 逆光補正・白バランス ➜ P40
- フラッシュの使用可能範囲は約80 ～120 cm です。
- カードに記録できる枚数のめやす ➜ P62
- [フラッシュ]が[入]の場合、記録/停止ボタンを押すと、必ずフラッシュが働きます。[オート]の場合、暗い場所では ϟ が表示され、フラッシュが働きます。

静止画を見る

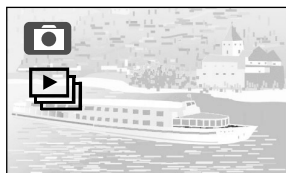
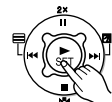
記録した静止画を再生してみましょう。

1 [PLAY] にし、[PICTURE] モードに設定する (P24)

● 一覧画面が表示されます。

2 再生ファイルを選ぶ

3 [▶ SET]を押す

● 選んだ静止画が再生されます。

再生中の操作について
[■]:停止(一覧画面に戻ります)
[⏮][⏭]:前(次)の画像を表示
[▶SET]:スライドショー

■ すべての静止画を順番に再生する(スライドショー)

静止画の再生中に [▶ SET] を押す

([❚❚]で一時停止します)

● すべての静止画が約 5 秒ずつ再生されます。
● [■]を押すと、スライドショーを停止します。

● SD-MovieStage Ver.2.0(付属)で設定したP.スライドショーを再生するには➜ P44
● テレビで見るには ➜ P36
● パソコン上で見るときは ➜ P48

動画を撮る(MPEG4 動画記録)

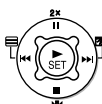
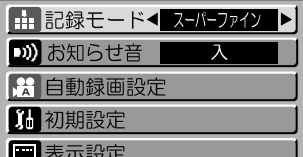
カードに MPEG4 形式の映像を記録します。

1 [REC] にし、[MPEG4] モードに設定する (P24)

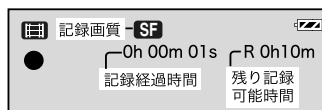
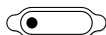
MPEG4

2 [MENU] を押す

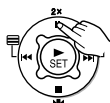
3 [記録モード] を選び、希望の設定にする

- [スーパーファイン]、[ファイン]、[ノーマル]、[エコノミー] から選びます。
- 設定後、[MENU]を押します。

4 記録 / 停止ボタンを押す

- 記録が始まります。
- 再度押すと、記録を停止します。

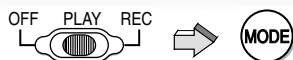
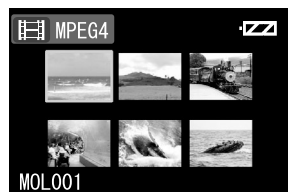
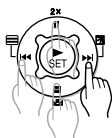
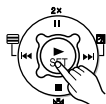
または

■ 2倍ズームで撮るときは

[2 ×] を約 1 秒押す

- 再度押すと、通常の倍率に戻ります。
- 記録中は切り換えることができません。

- [記録モード] を[エコノミー] にすると画質が劣化します。(音質は変わりません)
- 逆光補正・白バランス ➜ P40
- マルチメディアカードに[スーパーファイン]モードの映像を記録することはできません。
- 記録の停止後に再度記録すると、別ファイルとして保存されます。
- カードに記録できる枚数のめやす ➜ P62
- 本機の[スーパーファイン]で記録したMPEG4 動画の、本機以外での再生は保証いたしません。

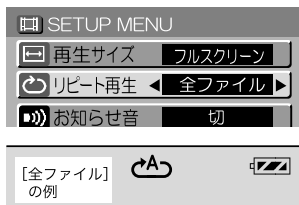
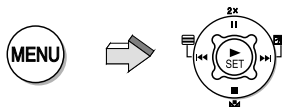
動画を見る(MPEG4 動画再生)

記録した MPEG4 ファイルを再生してみましょう。

1 [PLAY] にし、[MPEG4] モードに設定する (P24)

2 再生ファイルを選ぶ

3 [▶ SET]を押す

●選んだファイル以降の番号のファイルを再生したあと、ファイル一覧に戻ります。

操作について
[■]:停止
[❚❚]:一時停止(再生中に押す)
[⏮][⏭]:頭出し(「ポン」と押す)
[⏮][⏭]:早戻し･早送り(約 1 秒以上押す)
(送り中は、静止画となり、カウンターのみ進みます)

■ 繰返し再生(リピート再生)するには
停止中に[MENU]を押し、[リピート再生]を[1 ファイル]または[全ファイル]にする

[全ファイル]の例

●音量調整については ➜ P35
●パソコン上で見るときは ➜ P48
●テレビで見るには ➜ P36
●早送り･早戻しは次のファイルになると、通常の再生に戻ります。
●ファイル一覧画面の画像は映像の最初のフレームが表示されています。(例えば、最初の画面が黒の場合、黒色表示になります)

録音する(ボイス録音)

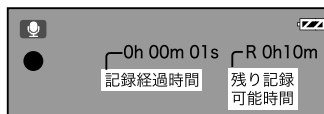
カードに音声を記録します。

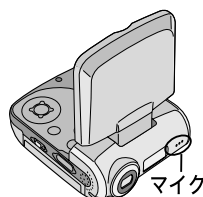
❶ [REC] にし、[VOICE] モードに設定する (P24)

❷ 記録 / 停止ボタンを押す

●録音が始まります。

●**録画開始後、約 5 秒で液晶モニターは消灯します。**

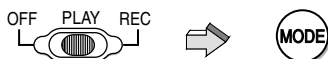
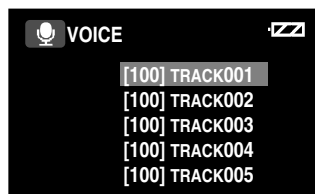
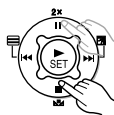
または

❸ 本機の内蔵マイクに向かって音声を入れる

●録音中に記録 / 停止ボタンを押すと、録音を停止します。

●録音終了後にモニターは再点灯します。
●録音中に [▶ SET] を押すと、モニターが点灯します。(約 5 秒後に消灯します)
●カードに録音できる時間のめやす ➜ P62
●音声(VOICE)ファイルはすべて自動的にロックされます。(P42)
●録音停止後に再度記録すると、別ファイルとして保存されます。

録音した音声を聞く(ボイス再生)

本機で録音した音声ファイルを再生してみましょう。

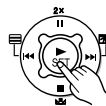
1 [PLAY] にし、[VOICE] モードに設定する (P24)

●音声ファイルが一覧表示されます。

2 音声ファイルを選ぶ

3 [▶ SET]を押す

●再生が始まります。

●**再生後、約 5 秒で液晶モニターは消灯します。**

操作について

[■]:停止

[❚❚]:一時停止(再生中に押す場合)

[⏮][⏭]:頭出し(「ポン」と押す)

[⏮][⏭]:早戻し・早送り(押し続ける)

●再生終了後にモニターは再点灯します。

●ステレオインサイドホンの使いかたは ➜ P23

●外部機器につないで聞くときは ➜ P36

●音量調整については ➜ P35

●早送り(早戻し)は次のファイル(ファイルの先頭)になると、通常の再生に戻ります。

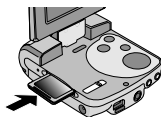
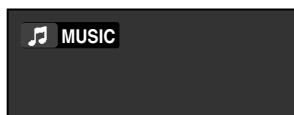
●再生中に [▶ SET] を押すと、モニターが点灯します。(約 5 秒後に消灯します)

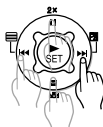
音楽を聴く（MPEG2-AAC/MP3 音楽再生）

ＳＤオーディオ ＰＣ レコーディングソフト /SH-SS10（SD-Jukebox Ver.3.0）（別売）を使って記録した音楽ファイルが聴けます。

❶ 音楽ファイルの入ったカードを入れる (P22)

(P22)

●SD-Jukebox Ver. 3.0 で記録した MPEG2-AAC、MP3 が再生できます。

❷ [PLAY]にし、[MUSIC] モードに設定する (P24)

❸ 音楽ファイルを選ぶ

●音楽を記録するときに、静止画を関連付けして記録すると、静止画も同時に再生します。

❹ [▶ SET]を押す

●再生が始まります。

操作について
[■]：停止
[❚❚]：一時停止（再生中に押す場合）
[⏮][⏭]：頭出し（「ポン」と押す）
[⏮][⏭]：早戻し・早送り（押し続ける）
（音声は出ません）

■ 繰返し再生（リピート再生）するには

停止中に[MENU]を押し、[リピート再生] を希望の設定にする

1 曲：　再生中の曲のみ繰り返し
全曲：　全曲の繰り返し（プレイリストを選択時はプレイリストの全曲）
切：　リピート再生しない

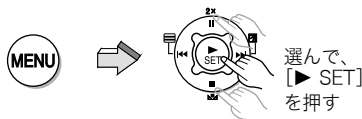
プレイリストを選ぶ

SD-Jukebox Ver. 3.0 で設定したプレイリストを選んで、再生することができます。

[MENU]を押し、[プレイリスト選択]を選び、再生するプレイリストを選ぶ

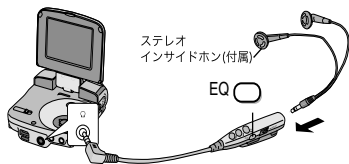
●画面の先頭の項目 ① を選ぶと、記録されている音楽ファイルがすべて再生されます。

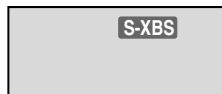
プレイリスト選択
① Default Playlist
PLAYLIST1
PLAYLIST2
PLAYLIST3

表示されるタイトル名などは、SD-Jukeboxの設定によって異なります。

音質を切り替える(EQ)

本機にリモコンを付けると、音質を切り換えることができます。(ステレオインサイドホンを使用しないと音声は聞こえません)

イコライザー[EQ]ボタンを押すごとに、以下のように変わります。

表示なし ➜S-XBS➜TRAIN➜ 表示なし

表示なし :	音質の変化なし
S-XBS:	迫力ある重低音
TRAIN:	電車内での音漏れを防ぐ、耳に優しい音声

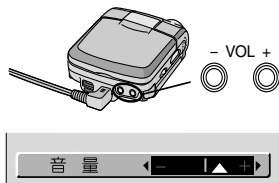
S-XBS

音量を調整する

再生音量を調整します。

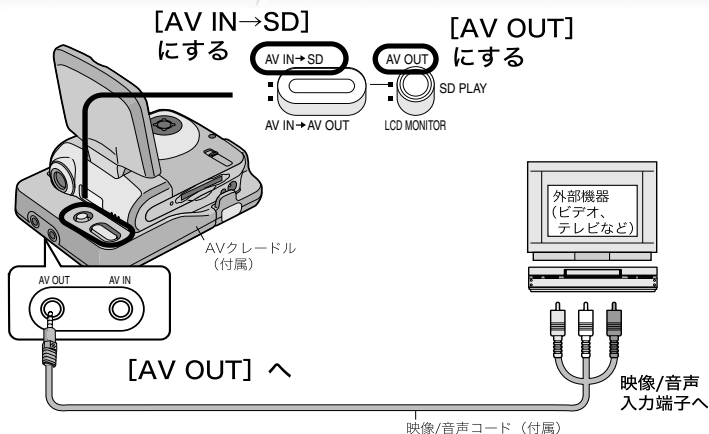
❶ [VOL] の [−]、[+] を押す

●音量調整後、約2秒間なにも操作しなければ、自動的に音量調整画面は消えます。

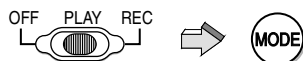
− VOL +

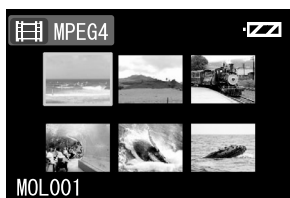
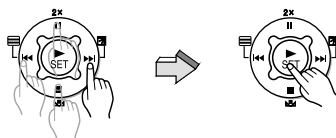
音 量 − +

●音楽ファイルの記録、プレイリストについては、SD-Jukebox Ver. 3.0 の説明書をお読みください。
●本機は再生専用機として使えます。曲の記録・消去などはできません。
●音楽データがない場合は、プレイリスト選択画面は表示されません。
●メニューで[パワーセーブ]を[入]にしている場合、再生後約５秒でモニターが消灯し、停止後約 30 秒で、電源が切れます。一度電源を[OFF]にして電源を入れ直してください。(リモコンの[■ /▶ ●]ボタンを押しても、電源が入ります)

テレビなどの外部機器で映像や音声を見る/聴く

AV クレードルを付けると、映像や音声を外部機器で楽しめます。

❶ 接続する (上記参照)

●接続時は本機の電源は[OFF]にしてください。

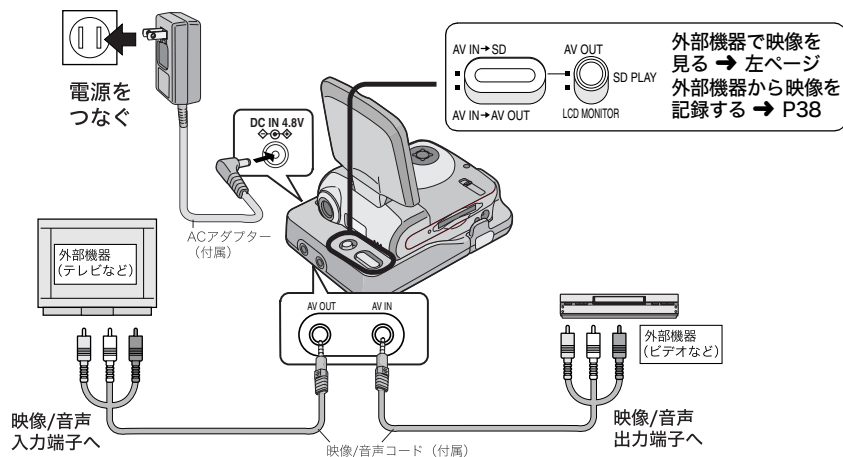
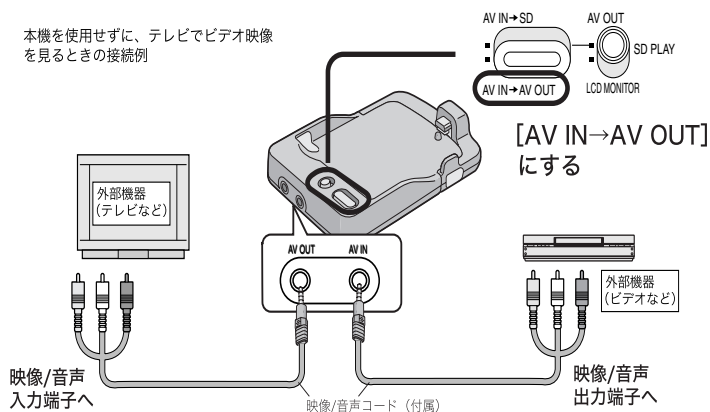
❷ [PLAY]にし、再生したいモードに設定する

❸ 再生ファイルを選び、[▶ SET]を押す

●再生が始まります。

MPEG4 モードの例

●再生方法の詳細については各モードのページをお読みください。
●画面の表示を消すには、[表示設定]メニューの[表示モード]を[切]にします。
●バッテリーまたはACアダプターをお使いください。
●上記の接続では、本機のスピーカー、ステレオインサイドホンは使えません。
●AV クレードルを付けて、本機の液晶モニターで映像を見るときは、AV 出力切換スイッチを[LCD MONITOR]にします。(音声も本機のスピーカーから聞こえます)

便利な接続方法（AV クレードル常時接続）

外部機器に出力端子が 1 つしかない場合は、以下のように接続すると便利です。
（接続時は本機の電源を[OFF]にしてください）

本機の映像を外部機器で楽しんだり、外部機器の映像を記録できます。

本機を使用しないときも、AV クレードルを接続したまま使えます。

外部機器から映像を記録する

外部機器の映像を本機で記録します。

1 接続する（上記参照）

- 接続時は本機の電源は[OFF]にしてください。

2 [REC]にし、[MPEG4] または [PICTURE]モードに設定する

3 画質を設定する（P28、30）

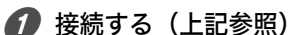
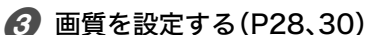
4 外部機器を設定する

- 本機に映像・音声が入力されているか確認してください。

5 記録 / 停止ボタンを押す

- 記録します。
- 動画の場合は、再度押すと、記録が停止します。

または

- 著作権保護の信号（コピーガード）が入っている映像は記録できません。
- 本機が停止して約 10 分後に、 自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。（P24）
- 外部機器からのボイス録音はできません。
- 記録[REC]モード時は、AV 出力切換スイッチ（AV OUT/LCD MONITOR）の設定に関係なく、[AV OUT]端子から映像・音声は出力されません。
- 便利な接続方法 ➜ P37

自動録画機能を使う

動画記録モード時のみ

外部機器から映像入力信号を受けると、自動的に録画を開始します。

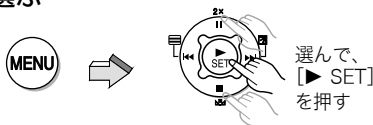
1 本機を AV クレードルに付けて、外部機器を接続する（左ページ参照）

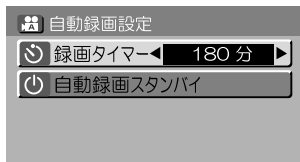
必ず AC アダプターをお使いください。
（自動録画設定を行っても、バッテリーのみでは動作しません）

2 外部機器のタイマー設定などを行う

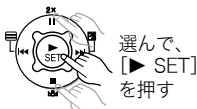
3 外部機器の映像信号が出力されていないのを確認する

4 [REC]にし、[MPEG 4] モードにする

5 [MENU] を押し、[自動録画設定]を選ぶ

6 終了時間を設定するには、[録画タイマー]を選び、希望の時間を選ぶ

- 録画開始から終了までの時間を設定します。（最大 180 分設定できます）

7 [自動録画スタンバイ] を選ぶ

- 確認画面が表示されたら[はい]を選び、[▶ SET]を押します。（スタンバイモードになり、自動的に電源が切れます）

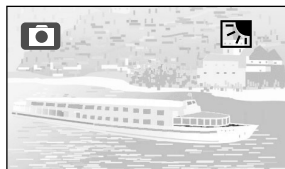
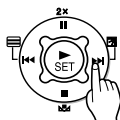
- 映像入力信号を検知すると、自動的に録画が始まります。
- 録画中に、記録 / 停止ボタンを押すと、記録は停止します。

- スタンバイモード時は電源スイッチを[OFF]にしないでください。
- 接続するときは、外部機器の電源を切っておいてください。
- 自動録画は 1 回分だけ設定できます。
- 設定した時間が経過しなくても、カード容量がいっぱいになると、記録が自動的に停止します。
- 映像の最初の部分が記録されない場合があります。

逆光で撮る（逆光補正）

逆光で人物などが暗くなる場合に、画面を明るくします。

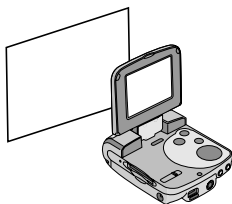
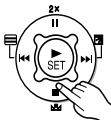
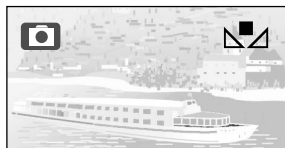
1. [REC] にし、[MPEG4] または、[PICTURE] モードに設定する

2. [逆光補正アイコン] を約 1 秒押す

●画面が明るくなります。（再度押すと、逆光補正が解除されます）

自然な色合いで撮る（白バランス設定）

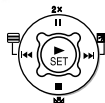
本機のオートホワイト（白）バランス機能により、通常は自動で自然な色合いに撮ることができます。しかしシーン・光源によっては、自然な色合いで撮れないことがあります。この場合に、白バランスを設定し、色合いを調整します。

1. [REC] にし、[MPEG4] または [PICTURE] モードに設定する

2. 画面いっぱいに白い被写体（白紙など）を映しながら、[白バランスアイコン] が表示されるまで押す

●白バランスを解除するには、[白バランスアイコン] が消えるまで [■] を押す。

●電源を切ると、逆光補正・白バランスは解除されます。
●白バランス設定、逆光補正、横しま軽減モード（P27）は同時に設定できません。
●光が弱いときなど、白バランス設定ができない場合があります。（[白バランスアイコン] が点滅します）
●白バランス設定を行うと効果的なシーンについて ➔ P64

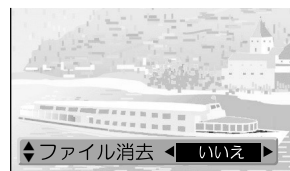
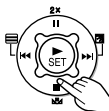
不要なファイルを消去する

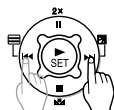
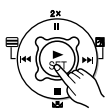
不要になった静止画や音声、動画ファイルを消去します。

1 消去するファイルを選び、再生（再生の一時停止）する

2 [MENU] を押す

●ショートカット編集モードになります。

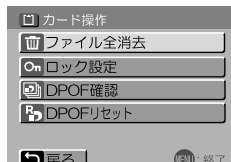
3 [ファイル消去] が表示されるまで押す

●押すごとに、以下のように換わります。

[MPEG4]・[VOICE]再生時
[ファイル消去] ➜[ファイルロック] ➜[ファイル消去]
[PICTURE]再生時
[ファイル消去] ➜[ファイルロック] ➜[DPOF 設定]
➜[ファイル消去]

4 [はい]を選び、[▶ SET]を押す

選んで、

消去

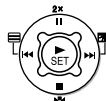
●消去後、ファイル一覧に戻ります。

■ **選んだ動作モードのファイルをすべて消去するには**

1 [PLAY]にし、動作モードを選んで、[MENU]を押す
2 [カード操作]を選び、[▶ SET]を押す
3 [ファイル全消去]を選び、[▶ SET]を押す
4 確認画面が出たら、[はい]を選び、[▶ SET]を押す

●**一度消したファイルは元に戻りません。よく確認してから消去してください。**
●ロックされたファイルは消去できません。ロックを解除してから消去してください。
●音楽 (MPEG2-AAC、MP3) ファイル (P34) は本機で消去できません。

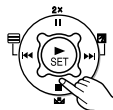
ファイルの誤消去を防止する(ロック設定)

カードに記録したファイルをロック(誤消去防止)します。

1 ロック設定するファイルを再生（再生の一時停止）する

2 [MENU] を押す

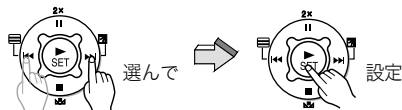
● ショートカット編集モードになります。

3 [ファイルロック] が表示されるまで押す

● 押すごとに、以下のように換わります。

[MPEG4]・[VOICE]再生時
[ファイル消去] ➔[ファイルロック] ➔[ファイル消去]
[PICTURE]再生時
[ファイル消去] ➔[ファイルロック] ➔[DPOF 設定]
➔[ファイル消去]

4 [保護]を選び、[▶ SET]を押す

選んで

設定

● ファイルロック後に、ファイル一覧に戻ります。

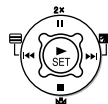
■ 選んだ動作モードのファイルをすべてロックするには

1. [PLAY]にし、動作モードを選んで、[MENU]を押す
2. [カード操作]を選び、[▶ SET]を押す
3. [ロック設定]を選び、[▶ SET]を押す
4. 確認画面が出たら、[保護する]を選び、[▶ SET]を押す

● ロック設定(解除)するファイル数が多い場合、時間がかかります。
● [解除]を選ぶと、ロック設定が解除されます。
● 音楽 (MPEG2-AAC、MP3) ファイル (P34) はロック設定及び解除はできません。
● ロック設定は本機でのみ有効です。

プリント情報を書き込む(DPOF 設定)

プリントしたい静止画、枚数などの情報(DPOF データ)をカードに書き込みます。

❶ DPOF 設定する静止画ファイルを再生する (P29)

❷ [MENU] を押す

●ショートカット編集モードになります。

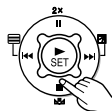
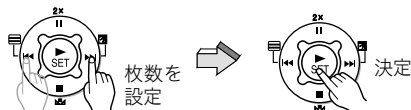
❸ [DPOF 設定] が表示されるまで押す

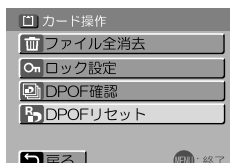
●押すごとに、以下のように換わります。

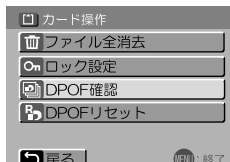
[ファイル消去] ➜[ファイルロック] ➜[DPOF 設定]➜[ファイル消去]

❹ 枚数を設定し、[▶ SET]を押す

枚数を設定

決定

■ DPOF 設定をすべて解除するには

1 [PLAY]にし、[PICTURE]モードにする
2 [MENU]を押す
3 [カード操作]を選び、[▶ SET]を押す
4 [DPOF リセット]を選び、[▶ SET]を押す
5 確認画面が出たら、[はい]を選び、[▶ SET]を押す

■ DPOF 設定をスライドショーで確認するには

1 「DPOF 設定をすべて解除するには」(上記)の手順 **1** 〜 **3** までを行う
2 [DPOF 確認]を選び、[▶ SET]を押す
・ DPOF 設定した画像が約 5 秒ずつ表示されます。

●プリント枚数は 0 〜 99 枚まで設定できます。

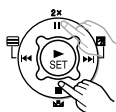
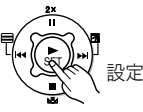
●DPOF 設定(解除)するファイル数が多いと、時間がかかる場合があります。

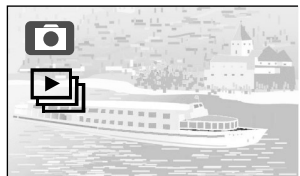
付属のソフトで作ったスライドショーを楽しむ（P. スライドショー）

SD-MovieStage Ver. 2.0（付属）で設定したスライドショーをもとに静止画を再生します。

❶ [PLAY] にし、[PICTURE] モードに設定する

❷ [MENU] を押す

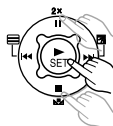
❸ [P. スライドショー] を選び、[▶ SET]を押す

- SD-MovieStage Ver. 2.0で設定した画像が設定した順番で、約 5 秒ずつ再生します。
- すべての再生が終わると、停止します。

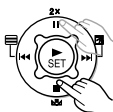
操作について
[■]：スライドショーの停止
[❚❚]：スライドショーの一時停止

- SD-MovieStage Ver. 2.0 で設定したスライドショーの時間は本機では適用されません。

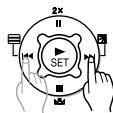
液晶モニターを調整する

液晶モニターの明るさや色レベルを調整します。

1 [REC] にし、[MPEG4] または、[PICTURE] モードに設定する

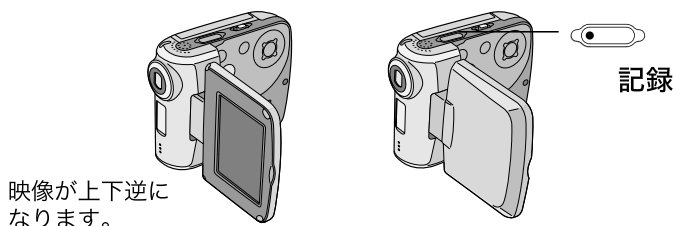
2 [MENU] を押して、[表示設定] を選ぶ

選んで、
[▶ SET]
を押す

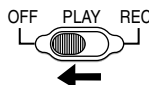
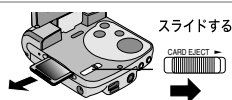
3 [明るさ] または、[色レベル]を選ぶ

[▶ SET]
は押さない

4 調整する

- [明るさ]:
  [▲]が右(+)にいくほど明るくなります。
- [色レベル]:
  [▲]が右(+)にいくほど濃くなります。
- [MENU] ボタンを押すと、設定画面が消えます。(約 5 秒間そのままにしておくと、自動的に、[表示設定]に戻ります)

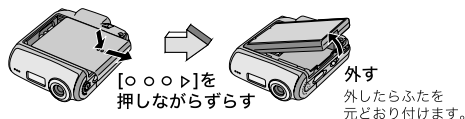
- 液晶モニターの調整内容は、実際に録画される映像には影響しません。

縦長の静止画を記録する

縦長の静止画を撮るには、縦撮り用の記録ボタンを使うと便利です。
SD-MovieStage Ver. 2.0（付属）を使うと、パソコン上で縦長の映像を横長に変換して楽しめます。

使い終わったら

1 電源を切る

2 カードを取り出す（P22）

3 液晶モニターを閉じる（P22）

4 AC アダプター、バッテリーを外す

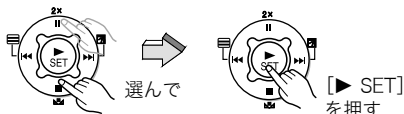
バッテリーの外しかた

- **長時間使用しないときは、バッテリーを外してください。**
- 年月日は内蔵電池で動作していますので、バッテリーを外しても、年月日を合わせ直す必要はありません。（P26）

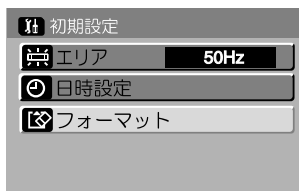
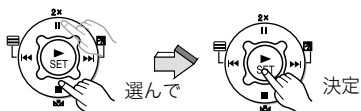
カードをフォーマットする

フォーマットすると、カードに記録されているすべてのデータ(ファイル)は消去され、元に戻すことができません。よく確認してからフォーマットしてください。

1 [REC] にする

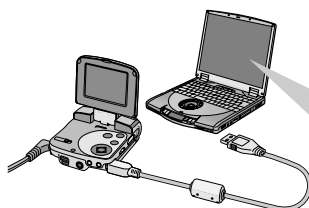
2 [MENU]を押す

3 [初期設定] を選ぶ

MPEG4 モードの例

4 [フォーマット] を選ぶ

- 確認画面が表示されたら、[はい]を選び、[▶ SET]を押します。

- **通常はカードをフォーマットする必要はありません。**
- 「カードを確認してください」 とメッセージが出た場合、本機でそのカードを使うにはフォーマットする必要があります。
- SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが [LOCK] 側のときはフォーマットできません。
- ロックしたファイルも消去されます。
- 記録･再生に失敗するなど、カードが不安定になってきた場合は、一度フォーマットしてみてください。

パソコンで使う

●USB ドライバー(付属)をインストールすると、本機とパソコンを接続して使えます。
●SD-MovieStage Ver. 2.0 (付属)を使うと、映像や音声を簡単に楽しめます。
●SD オーディオ PC レコーディングソフト /SH-SS10(SD-Jukebox Ver. 3.0) (別売)を使うと、オーディオ CD などの音楽をカードに記録することができます。
(本機の[MUSIC]モードで再生できます)

SD-MovieStage

・カードの内容が一目でわかる
・ファイルの整理が簡単にできる
・パソコンのデータをカードに書き出せる
・MPEG4カット編集機能

USB ドライバー/SD-MovieStage 動作環境

以下の環境でご使用いただけます。

対象パソコン	Microsoft Windows XP Home Edition/ Windows XP Professional/Windows 2000 Professional/ Windows Me/Windows 98SE 日本語版がプリインストールされた IBM® PC/AT 互換機
CPU	Intel Celeron 366 MHz 以上
搭載メモリー	Windows XP/2000 は 256 MB 以上 Windows Me/98SE は 128 MB 以上
ハードディスク	350 MB 以上の空き容量(SD-MovieStage Ver. 2.0)
グラフィック表示	High Color (16bit) 以上 /800 × 600 以上
インターフェース	USB 端子
その他	●Windows Media Player 6.4 以降 ●DirectX 8.1 以降 ●マウスまたはマウスと同等のポインティングデバイス

●上記の動作環境のパソコンすべてにおいて、動作を保証するものではありません。
●USB ハブを経由する場合や USB カードをご使用の場合は動作保証の対象外とさせていただきます。
●Windows XP/2000 をお使いの場合は、ユーザー名を [Administrator (コンピュータの管理者)] (もしくはこれと同等の権限を持つユーザー名) にしてログオンしてからインストールしてください。
●インストール前に、P4 のソフトウェア使用許諾書をよくお読みください。

USB ドライバーのインストール

- USB ケーブルをつなぐ前に、必ず USB ドライバーをインストールしてください。
- インストール前に[インストール前にお読みください]をクリックしてお読みください。
- インストール前に他のアプリケーションを終了させてください。

1 CD-ROM（付属）をパソコンに入れる

- インストール画面が自動で表示されない場合は、CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

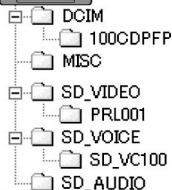
2 [USB ドライバーのインストール]をクリックする

3 [完了]をクリックする

- 再起動後、ドライバーが有効になります。（必ず再起動してください）

カード内のデータについて

カード内のフォルダーには以下のファイルが入っています。
ファイル名やフォルダー名を変更すると、本機で使えなくなる場合があります。
ファイル操作には SD-MovieStage（付属）をお使いください。

[DCIM]：JPEG 形式（IMGA0001.JPG など）で記録された静止画（本機では100-0001などと表示されます）
[MISC]：静止画に設定された DPOF データ
SD-MovieStage で作成したスライドショーデータ（AUTPLAY0.MRK など）
[SD_VIDEO]：MPEG4（ASF）形式（MOL001.ASF など）で記録された動画
[SD_VOICE]：音声データ（MOB001.VM1 など）
[SD_AUDIO]：SD オーディオ PC レコーディングソフト（SD-Jukebox Ver. 3.0（別売）などで記録された音楽データ（AOB001.SA1 など）

SD-MovieStage のインストール

インストール前に他のアプリケーションを終了させてください。

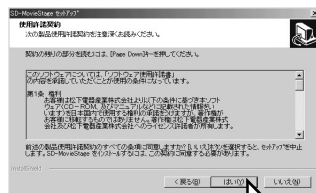
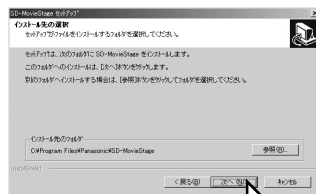
1 CD-ROM（付属）をパソコンに入れる

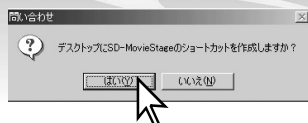
- インストール画面が自動で表示されます。
  表示されない場合は、CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

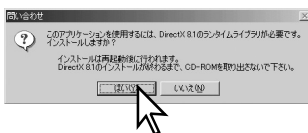
2 [SD-MovieStage Ver. 2.0 のインストール]をクリックする

3 [次へ]をクリックする

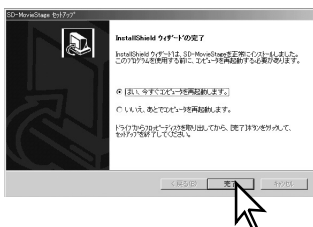
4 よく読んで、内容に同意される場合、[はい]をクリックする

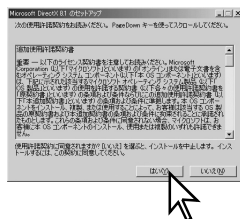
- [いいえ]をクリックすると、SD-MovieStage はインストールされません。

5 [次へ]をクリックする

❻ [はい]をクリックする

●[いいえ]をクリックすると、デスクトップにショートカットアイコンは表示されません。

❼ [はい]をクリックする

●[DirectX 8.1]がインストールされます。
Windows XPをお使いの場合、この画面は表示されません。

❽ [完了]をクリックする

●パソコンを再起動します。

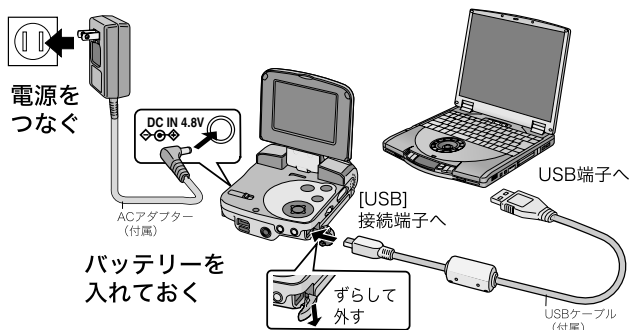
●**Windows XP をお使いの場合、 これでインストールは完了です。
再起動後に SD-MovieStage Ver. 2.0 が使用できます。**

❾ パソコンを再起動後、[Microsoft DirectX 8.1 のセットアップ]画面が表示されたら、よく読んで[はい]をクリックする

●[いいえ]をクリックすると、SD-MovieStage Ver. 2.0 はご使用になれません。

❿ [インストール］をクリックする

⓫ [OK］をクリックして、パソコンを再起動する

●**これでインストールは完了です。
再起動後に SD-MovieStage Ver. 2.0 が使用できます。**

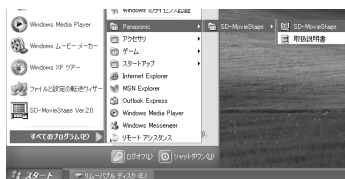
パソコンと接続する

●USB ドライバーをインストールしてから、USB ケーブルをつないでください。
●AC アダプターとバッテリーの両方をお使いください。どちらか一方だけでは、パソコンに接続して使うことはできません。

1 ［PLAY］にして、上記のように接続する

●［マイコンピュータ］に［リムーバブルディスク］アイコンが表示されます。
●本機はパソコン専用モードになります。（本機からの操作はできなくなります）

SD-MovieStage を起動する

1 ［スタート］→［すべてのプログラム（プログラム）］→［Panasonic］→［SD-MovieStage］→［SD-MovieStage］を選ぶ

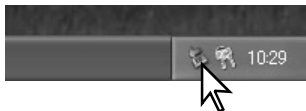
●SD-MovieStage Ver. 2.0 の使用方法などについては本説明書には記載しておりません。同時にインストールされる PDF 説明書をお読みください。

●本機側から操作するときは、USB ケーブルを抜いてください。
●AV クレードルに付けて使用することもできます。

●PDF 説明書を読むには Adobe Acrobat Reader 5.0 以上が必要です。（インストール画面で、[Acrobat Reader 5.0 のインストール]をクリックしてください）

USB ケーブルを安全に外すには

Windows XP/2000 をお使いの場合、以下の方法で USB ケーブルを外します。
Windows Me/98SE をお使いの場合はカード動作中ランプが消灯しているのを確認して、そのまま抜いてください。(本機の電源は入れたままにしてください)

❶ **タスクトレイの アイコンをダブルクリックする**

●ハードウェア取り外し画面が表示されます。

❷ **[USB 大容量記憶装置デバイス]を選択し、[停止]をクリックする**

❸ **[OK]をクリックする**

●[OK]をクリックすると、安全に USB ケーブルを外すことができます。

SD-MovieStage をアンインストールする

他のアプリケーションを終了させてから、アンインストールしてください。

❶ **[スタート]（→［設定]）→［コントロールパネル］をクリックする**

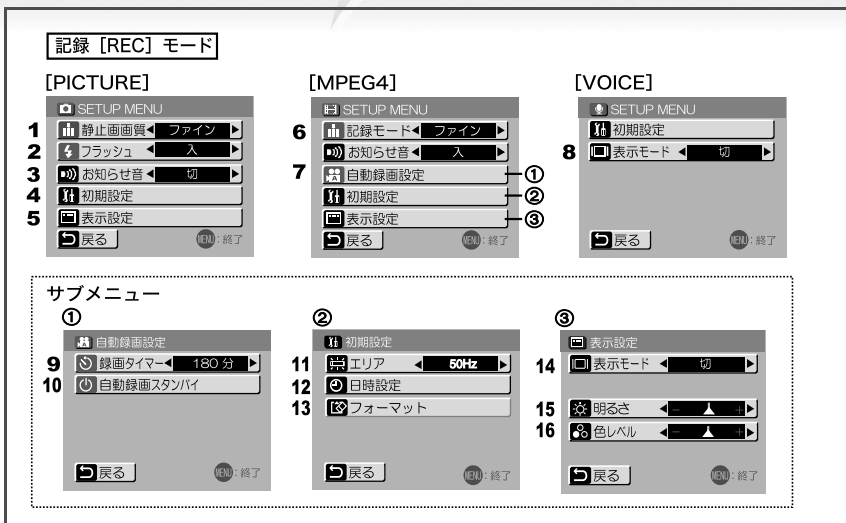
❷ **[プログラム(アプリケーション)の追加と削除]をダブルクリックする**

❸ **[SD-MovieStage]を選ぶ**

❹ **[変更と削除]([変更 / 削除]または[追加と削除])をクリックする**

❺ **削除の確認メッセージが表示されたら、[OK]をクリックする**

メニュー画面の表示

内容については関係するページをお読みください。

記録[REC]モード

1 静止画画質

2 フラッシュ(P28)

3 お知らせ音

記録･停止時などに「ピッ」音が鳴ります。(リモコン操作時も鳴ります)

［切］にすると、鳴らなくなります。

4 初期設定

5 表示設定

6 記録モード(P30)

7 自動録画設定(P39)

8 表示モード

画面表示を切/入します。外部機器での映像を記録すると、画面表示も記録されます。

[サブメニュー]

9 録画タイマー(P39)

10 自動録画スタンバイ(P39)

11 エリア(P27)

12 日時設定(P26)

13 フォーマット(P47)

14 表示モード

8 と同じです。

15 明るさ(P45)

16 色レベル(P45)

再生［PLAY］モード

［PICTURE］

SETUP MENU
1 P.スライドショー
お知らせ音 ◀ 入 ▶
2 カード操作 ―①
表示設定
戻る　MENU：終了

［MPEG4］

SETUP MENU
3 再生サイズ ◀ フルスクリーン ▶
4 リピート再生 ◀ 全ファイル ▶
お知らせ音 ◀ 切 ▶
カード操作
表示設定
戻る　MENU：終了

［VOICE］

SETUP MENU
お知らせ音 ◀ 入 ▶
5 ファイル全消去
6 ロック設定
7 表示モード ◀ 入 ▶
戻る　MENU：終了

［MUSIC］

SETUP MENU
8 プレイリスト選択 ―②
リピート再生 ◀ 全曲 ▶
9 パワーセーブ ◀ 入 ▶
お知らせ音 ◀ 入 ▶
表示設定
戻る　MENU：終了

サブメニュー

①

カード操作
10 ファイル全消去
11 ロック設定
12 DPOF確認
13 DPOFリセット
戻る　MENU：終了

②

プレイリスト選択
14 Default Playlist
15 PLAYLIST1
PLAYLIST2
PLAYLIST3

再生[PLAY]モード

1　P. スライドショー(P44)

付属のSD-MovieStage Ver.2.0で作ったスライドショーデータをもとにスライドショーを行います。

2　カード操作

3　再生サイズ

MPEG4 動画再生時の画面サイズを設定します。
[ノーマル]にすると、通常画面になります。[フルスクリーン]にすると、画面全体に拡大されます。テレビに表示するときは、[ノーマル]にすることをおすすめします。

4　リピート再生(P31)

5　ファイル全消去(P41)

6　ロック設定(P42)

7　表示モード

音声再生時の表示モードを設定します。

8　プレイリスト選択(P35)

カードにプレイリストが記録されている場合、再生するプレイリストを選びます。プレイリストは本機で設定できません。SD オーディオ PC レコーディングソフト　/SH-SS10(SD-Jukebox Ver. 3.0)(別売)をお使いください。

9　パワーセーブ(P35)

[サブメニュー]

10 ファイル全消去(P41)

11 ロック設定(P42)

12 DPOF 確認(P43)

13 DPOF リセット(P43)

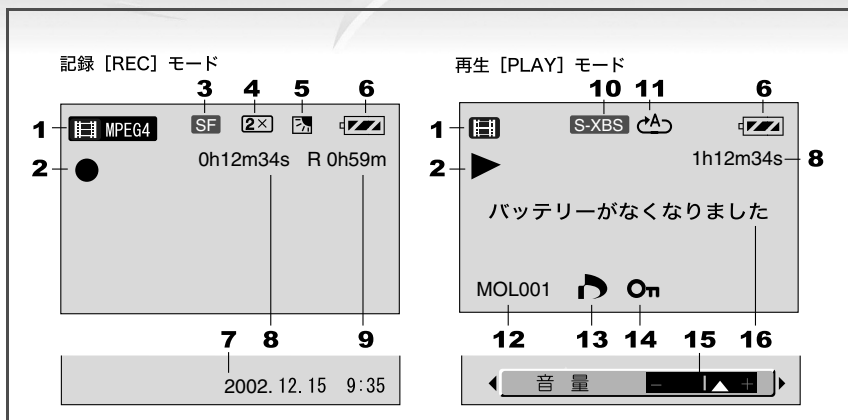
14 Default Playlist(P35)

カード内の全曲が再生されます。ここの表示は、SD-Jukebox での設定により変わります。

15 PLAYLIST1 (P35)

SD-Jukebox で設定したプレイリスト名が表示されます。ここの表示は、SD-Jukebox での設定により変わります。

その他の項目は[REC]モードと同じです。

画面の表示

1　動作モード表示

モードを切り換えてから(電源を入れてから)数秒経過すると、アイコン表示のみになります。

MPEG4 : 動画 [MPEG4] モード
PICTURE : 静止画 [PICTURE] モード
VOICE : 音声 [VOICE] モード
MUSIC : 音楽 [MUSIC] モード

2　状態表示

[記録系]

● :　記録中

[再生系]

▶:　再生
❚❚:　一時停止
◀◀ / ▶▶: 早戻し / 早送り再生
(× 10◀◀ / ▶▶ で 10 倍速、
×60◀◀ / ▶▶ で60倍速になります)
:　スライドショー(P44)
:　スライドショーの一時停止
ACCESS:　カードアクセス中
NO CARD: カードなし
NO FILE:　ファイルなし

3　画質

静止画[PICTURE](P28)

F:　ファイン
N:　ノーマル
E:　エコノミー

MPEG4 動画[MPEG4](P30)

SF:　スーパーファイン
F:　ファイン
N:　ノーマル
E:　エコノミー

4　2 倍ズーム表示 [2×](P28、30)

5　カメラ機能表示

:　フラッシュ表示 (P28)
:　横しま軽減モード(P27)
:　逆光補正モード (P40)
:　白バランス設定 (P40)

6　バッテリー残量表示
バッテリーの残量が少なくなるにつれ [battery icon] → [battery icon] → [battery icon] → [battery icon]（点滅表示）と変わります。バッテリーの残量表示が「[battery icon]」のときは、数分でバッテリーがなくなりますので充電してください。
(AC アダプター使用時に [battery icon] が表示される場合がありますが、問題ありません)

7　年月日、時刻表示（P26）
時刻は 24 時間表示です。（記録・再生モードとも）

8　経過時間表示
0h00m10s
記録モード時：記録経過時間
再生モード時：再生経過時間

9　記録可能時間・可能枚数表示
R 0
静止画の記録可能残り枚数 (残り 0 枚で赤色点滅となります)
R 0h10m
MPEG4動画撮影、音声 (VOICE) 記録可能残り時間 (残り 0h00m で赤色点滅となります)

10 音質表示（音楽ファイル）（P35）
リモコンの[EQ]ボタンで設定する音質を表示します。
S-XBS：　S-XBS モード
TRAIN：　TRAIN モード

11 リピート再生
[A repeat icon]：　全ファイル（全曲）リピート
[1 repeat icon]：　1 ファイル（1 曲）リピート

12 ファイル名表示
再生ファイルの名前を表示します。

13 DPOF 設定表示（P43）
DPOF 設定済み (1 枚以上に設定)

14 ロック設定表示（P42）
ファイルのロック

15 音量表示（P35）
音量を調整するときに表示します。

16 警告表示
（記録・再生モードとも）
「バッテリーがなくなりました」
バッテリー容量がなくなっています。十分に充電したバッテリーと交換してください。
「カードを入れてください」
カードが入っていません。またはカードが途中までしか入っていない可能性があります。
「カード残量がありません」
カードの容量がありません。不要なファイルを消去するか、新しいカードを入れてください。
「カードがロックされています」
SD メモリーカードの書き込みスイッチが「LOCK」側になっています。（P59）
「カードを確認してください」
カードを入れ直してみてください。それでもだめな場合は、フォーマットしてください。（P47）
「ファイルがロックされています」
ロック設定されているデータに消去操作をしています。
「電源を入れ直してください」
電源を入れ直してください。
「コピーガードがあり 録画できません」
著作権保護の信号（コピーガード）が入っている映像を記録しようとしています。このデータは記録できません。

使用上のお願い

■ SDマルチカメラについて

磁気や電磁波が発生するところ(電子レンジやテレビ、ゲーム機、マイコンなど)からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で映像や音声が乱れることがあります。
- 本機は他の機器などから離してください。スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、画像がゆがんだりします。また、テレビやゲーム機などから出る電磁波により、お互いに影響を及ぼし、テレビや本機の映像が乱れる場合があります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーや AC アダプターを一度外してから、改めて接続して電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で記録映像や音声が悪くなることがあります。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

浜辺など砂やほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないようにする また海水などでぬらさないようにする

- 砂やほこりが入ると、本機の故障につながります。
- 万一海水がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない

- 強い衝撃が加わると、外装ケースがこわれ、故障します。

監視用など、業務用として使わない

- 長時間使うと、内部に熱がこもり故障するおそれがあります。
- 本機は業務用ではありません。

■ バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる(低くなる)ほど影響が大きくなります。

- 長時間使用しないときは、必ずバッテリーを外してください。バッテリーを付けたままにしておくと、電源を切っていても、絶えず微少電流が流れています。そのままにしておくと、過放電になり、充電しても使用できなくなるおそれがあります。
- バッテリーの端子部に付いたほこりなどは取ってください。
- バッテリーは涼しくて、湿度が低く、温度がなるべく一定のところに保管してください。極端に低温・高温のところに保管すると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。
- 長期間保管する場合、1 年に 1 回は充電し、充電容量を使い切ってから再保管することをおすすめします。
- バッテリーには寿命があります。
- 不要(寿命になったなど)バッテリーは火中に投入しないでください。破裂するおそれがあります。

不要になった電池(バッテリー)は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

Li-ion

リチウムイオン
電池使用

使用済み充電式電池(バッテリー)の届け先

●下記の充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

●お買い上げの販売店または最寄りの松下電器の販売店・サービスセンター・販売会社へ。もしくは(社)電池工業会にご確認ください。
(ホームページ http://www.baj.or.jp)

使用済み充電式電池(バッテリー)の取り扱い

●端子部をセロハンテープなどでおおい、リサイクル箱へ

●分解しないでリサイクル箱へ

■ 本機の取り扱いについて

●**長時間使用すると、本機の温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。**

●使用後は電源を切り、AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いておいてください。(電源スイッチで電源を切った状態でも、約0.1 Wの電源を消費しています)

●半年に一度ぐらいは本機の電源を入れ、動作させてください。

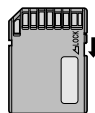
■ お手入れについて

●ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。外装ケースが変質したり、塗料がはげることがあります。お手入れ時は、柔らかい、乾いた布でほこりをふいてください。汚れがひどいときは、台所用洗剤を水でうすめ布をひたし、よく絞ってから汚れをふき取ってください。そのあと乾いた布で仕上げてください。

●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ カードについて

●カード動作中ランプが点灯中(カードにアクセス中)は、カードを抜いたり、電源を切らないでください。また、振動や衝撃を与えないでください。カードやカードの内容が破壊されることがあります。

●SD メモリーカードには書き込み禁止スイッチが付いています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みやデータの消去、フォーマットができなくなります。戻すと、可能になります。

●カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しないでください。カードやカードの内容が破壊されることがあります。

●使用後や保管、持ち運び時は、カードを取り出し、収納袋(収納ケース)に入れてください。

●カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

●不適切な取り扱いにより、カードのデータが破壊されたり消失した場合は、弊社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご容赦ください。

■ 液晶モニターについて

●液晶面が汚れたときは、柔らかい、乾いた布でふいてください。

●温度差が激しいところでは、液晶モニターに露が付くことがあります。このときは、柔らかい乾いた布でふいてください。

●寒冷地などで本体が冷えきっている場合、電源を入れた直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が表れたり、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01% 以下で画素欠けや常時点灯するものがあります。
これらはカードには記録されませんので、ご安心ください。

使用上のお願い(つづき)

■ レンズについて

- レンズを触らないでください。レンズが汚れたときは、乾いた、柔らかい布でふいてください。
- レンズがくもったときは、電源スイッチを切り、1時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。

■ 充電中の電源ランプについて

充電中は電源ランプが点滅します。**(正常充電時は約2秒間隔の点滅)**

電源ランプの点滅速度が速いときや、逆に遅いとき(もしくは消灯時)は異常が起こっていると考えられます。

点滅速度によって、以下の状態が考えられます。

約0.5秒間隔で点滅:

- 本体やバッテリー、AC アダプターなどの故障と思われます。お買い上げの販売店、またはお近くの「修理ご相談窓口」(P81〜83)にお問い合わせください。

約6秒間隔で点滅:

- バッテリーや周囲の温度が高い・低いとき、またはバッテリーが過放電されている場合です。充電はできますが、場合によっては正常充電までに数時間かかる場合があります。それでも充電できないときは、バッテリーや周囲の温度が高すぎる、もしくは低すぎる場合です。適温になるまで待ってから、再度充電してください。

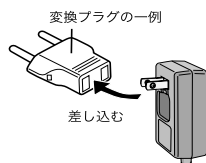
消灯:

充電完了です。

- 充電を完了していないのに、電源ランプが消灯しているときは、AC アダプターまたはバッテリーの故障と思われます。お買い上げの販売店、またはお近くの「修理ご相談窓口」(P81 〜 83)にお問い合わせください。

海外で使う

ACアダプターは、自動で全世界の電源電圧 (100 V、120 V、220 V、240 V)、電源周波数 (50 Hz、60 Hz) に切り換わるように設計されています。ただし、国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、下表を参考に電源コンセントの形状を確かめ、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。

変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。充電のしかたは、国内と同じです。

> ACアダプターは、全世界の電源電圧(100 V、120 V、220 V、240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)でご使用いただけるように設計しております。
> 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがあります。

主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米							
カナダ	A	アメリカ合衆国	A				
ヨーロッパ・旧ソ連地域							
アイスランド	C	ノルウェー	C	アイルランド	C	ハンガリー	C
イギリス	B.BF	フィンランド	C	イタリア	C	フランス	C
オーストリア	C	ベルギー	C	ギリシャ	C	ポーランド	B.C
オランダ	C	ポルトガル	B.C	スイス	B.C	ルーマニア	C
スウェーデン	C	ロシア	C	スペイン	A.C	ウクライナ	C
デンマーク	C	ベラルーシ	C	ドイツ	C	カザフスタン	C
アジア							
インド	B.C	モルジブ	B	インドネシア	B.C	バングラデシュ	C
シンガポール	B.BF	フィリピン	A.C.S	タイ	A.BF.C	ベトナム	A.C
大韓民国	A.B.C	中華人民共和国	A.B.BF.C.S	スリランカ	B	マカオ特別行政区	B.C
香港特別行政区	B.BF	マレーシア	B.BF.C	ネパール	C	モンゴル	C
パキスタン	B.C	台湾	A				
オセアニア							
オーストラリア	S	トンガ	S	グァム島	A	ニュージーランド	S
タヒチ	C	フィジー	S				
中南米							
アルゼンチン	BF.C.S	バハマ	A	コロンビア	A	プエルトリコ	A
ジャマイカ	A	ブラジル	A.C	チリ	B.C	ベネズエラ	A
ハイチ	A	ペルー	A.C	パナマ	A	メキシコ	A
中東							
イスラエル	C	クウェート	B.C	イラン	C	ヨルダン	B.BF
アフリカ							
アルジェリア	A.B.BF	ザンビア	B.BF	エジプト	B.BF.C	タンザニア	B.BF
カナリア諸島	C	南アフリカ共和国	B.C	ギニア	C	モザンビーク	C
ケニア	B.C	モロッコ	C				

タイプ	A	B	BF	C	S
形状					
変換プラグ	不要です				

便利な情報

故障と思ったら (お願い・ヒント /Q&A)

お願い・ヒント

■ バッテリーを入れる / 充電する (P21)

●付属バッテリー1 本当たりの充電時間のめやすは以下のとおりです。(フラッシュなど使用状況・周囲の温度により記録時間 / 枚数 / 充電時間は変わります)

付属バッテリー1本あたり（温度20℃/湿度60%時）

充電時間	連続記録枚数 (PICTURE)	連続記録時間 (MPEG4)	連続記録時間 (VOICE)	連続再生時間 (MUSIC)
約120分	約1200枚	約90分	約180分	約180分

（[MUSIC]はパワーセーブが[入]のときの時間です）

●長期間使用しないときは、バッテリーを外しておいてください。(P58)
●充電・使用中は本体などが暖かくなりますが、故障ではありません。
●バッテリーを外すときは、落下させないようにお気を付けください。
●本機の電源が入っているときに、バッテリーの付け外しや電源コードの抜き差しをしないでください。
●充電中は AC アダプターを抜かないでください。AC アダプターを抜くと、電源ランプが数回点滅して消灯します。その場合、1 分ほどおいてから、再度接続して充電してください。

■ カードを入れる(P22)

●お使いのカードによっては、カードを取り出すときにとび出す場合がありますので、お気を付けください。
●カード裏の接続端子部には触れないでください。
●カード動作中ランプが点灯中(カードにアクセス中)は、下記の操作を行うと、カードやカードの内容が破壊されたり、本体が正常に動作しなくなることがあります。
  ・ カードを抜き差しする
  ・ バッテリーや電源コードを外す
  ・ 振動や衝撃を与える
●静電気や本機・カードの故障などにより、カードやデータが壊れることがあります。大切なデータはパソコンにも保存することをおすすめします。

●カード 1 枚あたりの記録時間・枚数のめやすは以下のとおりです。(記録時間・枚数はシーンによって異なります)

カード1枚あたりの記録時間・枚数のめやす

PICTURE

カードの容量	F(ファイン)	N(ノーマル)	E(エコノミー)
8MB	約45枚	約95枚	約190枚
16MB	約100枚	約200枚	約400枚
32MB	約220枚	約440枚	約880枚
64MB	約440枚	約880枚	約1760枚
128MB	約880枚	約1760枚	約3520枚
256MB	約1760枚	約3520枚	約7040枚
512MB	約3520枚	約7040枚	約14080枚

MPEG4

カードの容量	SF(スーパーファイン)	F(ファイン)	N(ノーマル)	E(エコノミー)
8MB	約1分	約2分	約3分	約8分
16MB	約2分	約5分	約8分	約18分
32MB	約4分	約10分	約17分	約37分
64MB	約8分	約20分	約35分	約1時間15分
128MB	約17分	約42分	約1時間10分	約2時間30分
256MB	約35分	約1時間25分	約2時間20分	約5時間00分
512MB	約1時間10分	約2時間50分	約4時間40分	約10時間10分

VOICE

カードの容量	録音時間	カードの容量	録音時間
8MB	約25分	128MB	約8時間30分
16MB	約58分	256MB	約17時間30分
32MB	約2時間	512MB	約35時間
64MB	約4時間		

■ 液晶モニターを使う(P22)

●液晶モニターの角度によっては、記録映像にモニターが映ることがあります。また、映っていないように見えても、パソコンで見たり、プリントすると映っている場合があります。

■ メニュー画面を操作する(P25)

●記録中は、メニュー画面は表示されません。
●動画 / 静止画 / 音声再生時に [MENU] ボタンを押すと、DPOF 設定、ロック設定など、再生しているファイルの編集ができます。(ショートカットメニュー)

■ エリア設定を行う（P27）

- ご使用の地域が変わった場合、エリア設定をやり直す必要があります。（周波数が異なる場合）
- 海外でご使用時に横しまが発生した場合、エリア設定を変更してみてください。
- 設定にかかわらず、蛍光灯などの照明光を画面に入れると、横しまが出る場合があります。
- 電源を切ると、横しま軽減モードは解除されます。
- エリア設定を行っても、横しまが完全になくならないことがあります。

■ 静止画を撮る（P28）

- 画像サイズは 640 × 480 (VGA) です。
- 被写体から約50 cm以上離して記録してください。
- ファイル一覧画面で、ファイル数が7つ以上の場合、多機能ボタンを左右に押していくと、前の（次の）ページが表示されます。
- N[ノーマル] や E[エコノミー] に設定して記録すると、被写体によってはモザイク状の画面になります。
- 残り記録可能枚数が10000枚以上であっても、「9999」と表示されます。
- フラッシュ使用直後は、⚡ が点滅し、画像を記録できない場合があります。点灯するまで、お待ちください。
- 2 倍ズームにすると画質が劣化します。

■ 静止画を見る（P29）

- 本機は電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された統一規格DCF（Design rule for Camera File system）に準拠しています。
- 本機で再生できる静止画は JPEG 形式のファイルです。（再生できない場合もあります）

■ 動画を撮る（MPEG4 動画記録）（P30）

- [エコノミー] 以外で記録した MPEG 4 動画は当社製デジタルビデオカメラ NV-MX1000/MX2500/EX21（別売）では再生できません。このときは「RESET ボタンをおしてください」などの表示が出ることがありますが、故障ではありません。
- 2 倍ズームにすると画質が劣化します。
- 被写体から約50 cm以上離して記録してください。
- 記録される音声はモノラルになります。

■ 動画を見る（MPEG4 再生）（P31）

- 画面の大きさを変えるには、メニューの[再生サイズ]を[ノーマル]または[フルスクリーン]にします。[ノーマル]にすると、通常画面になり、[フルスクリーン]にすると、画面全体に拡大されます。
- 本機で再生できる動画は ASF 形式のファイルです。（再生できない場合もあります）
- ファイル一覧画面で、ファイル数が7つ以上の場合、 多機能ボタンを左（右）に押していくと、前の（次の）ページが表示されます。
- MPEG4 動画を再生すると、被写体の動きが速い場合などでは、モザイクが出たり、コマ落ちしますが、異常ではありません。
- 他機および他社のソフトウェアで記録されたファイルは本機で再生できない場合があります。また、本機で記録されたファイルは他機で再生できなかったり、画像サイズが正確に表示されないことがあります。
- MPEG4 の動画ファイル名は 16 進数の連番で付けられます。

■ 録音する（ボイス録音）（P32）

- 画面は黒になります。
- 記録される音声はモノラルになります。
- 当社製の IC レコーダーRR-XR320/330（別売）ではボイスファイルを再生できません。

■ 録音した音声を聞く（ボイス再生）（P33）

- 画面は黒になります。
- 早送り・早戻しは、約 1 秒以上押すと、10 倍速、約7秒以上押すと 60 倍速になります。（手を離すと通常再生に戻ります）

故障と思ったら(お願い・ヒント/Q&A)(つづき)

■ 音楽を聴く(MPEG2-AAC/MP3 音楽再生)(P34)

- 本機単独では曲の記録・消去などはできません。
- フォーマット機能を使うと、音楽ファイルを含むカード内の全データ(ファイル)が消去されます。
- タイトル・アーチスト名が表示されない場合があります。また、漢字やひらがなのタイトルは表示しません。
- WMA 形式の音楽ファイルは本機では再生できません。
- SD-Jukebox で関連付けされた静止画のサイズ(容量)が大きいと、表示に時間がかかる場合があります。
- SD-Jukebox で関連付けされた静止画が複数ある場合、最初の静止画のみ表示されます。
- 静止画の種類によっては、SD-Jukeboxで関連付けされても、本機で再生できない場合があります。
- MPEG2-AAC、MP3 形式でも、ファイルによって再生できない場合があります。

■ 音量を調整する(P35)

- 記録時の音声を確認する場合、本機の音量の調整はできません。
- ステレオインサイドホンの L/R は左 / 右です。

■ テレビなどの外部機器で映像や音声を見る / 聴く(P36)

- テレビなどの外部機器に接続して、映像・音声を出力しているときは、メニューの[お知らせ音]を[入]にしているときでも、音は出ません。
- テレビなどの種類によっては、画面表示の文字が一部表示されない場合があります。

■ 便利な接続方法(AV クレードル常時接続)(P37)

- 1 台の機器の映像 / 音声入力端子と映像 / 音声出力端子に本機をつながないでください。画面が乱れます。

■ 外部機器から映像を記録する(P38)

- ワイド画像(16:9)は正しく記録できません。
- 音声はステレオの L(左)・R(右)がミックスされ、モノラルで記録されます。
- 記録中に映像 / 音声コードを抜き差ししないでください。正常に記録できないことがあります。
- 主音声と副音声が入った映像(2 カ国語の映像など)は、記録前に音声を選択してください。記録後に主音声と副音声のどちらかを再生することはできません。(ミックスして記録されます)
- テレビ放送の電波が弱い場合や、画面にノイズが入っている場合に、その映像を記録すると、映像が乱れたり再生できないことがあります。

■ 自動録画機能を使う(P39)

- 自動録画時以外では録画タイマーは働きません。
- 外部機器のタイマー設定などは、1 分ほど余裕をもった設定にしてください。
- 記録中に映像 / 音声コードを抜き差ししないでください。正常に記録できないことがあります。

■ 逆光で撮る(逆光補正)(P40)

- 画面全体が明るくなります。
- 電源を切ると解除されます。
- 横しま軽減モード、白バランス設定時は、逆光補正できません。
- 暗い場面では補正できない場合があります。
- 記録中には逆光補正(または解除)操作はできません。

■ 自然な色合いで撮る(白バランス設定)(P40)

- 暗いところでは設定できない場合があります。
- 電源を切ると解除されます。
- 横しま軽減モード、逆光補正時は、白バランス設定できません。

●以下のようなシーンで白バランス設定を行うと効果的です。
・ 赤っぽい光源(ハロゲンランプ·ナトリウムランプなど)での撮影
・ 複数の光源での撮影
・ 単調な色彩のシーンの撮影

■ 不要なファイルを消去する(P41)

●ボイス録音 (P32) のファイルは自動的にロックされています。ロック解除してからに消去してください。
●ボイス録音 (P32) のデータは任意の録音データ消去後も常に連番になります。例えば、[100]TRACK003 を消した場合、[100]TRACK004が[100]TRACK003に変わり、以降のファイルのデータ名も一つずつ詰まります。
●ファイル消去中は電源を切ったりカードを抜いたりしないでください。カードが破壊されるおそれがあります。
●音声(VOICE)ファイル (P33) は本機で消去してください。
●本機でファイルを消去すると、他機で設定した DPOF 情報が消去される場合があります。
●一度消去したファイルは元に戻りません。
●SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが [LOCK] 側のときは消去できません。(P59)
●本機で再生できない静止画ファイル(JPEG 以外)でも消去される場合があります。
●ファイル消去中は電源を切ったりカードを抜いたりしないでください。カードが破壊されるおそれがあります。

■ プリント情報を書き込む (DPOF 設定)(P43)

●DPOF とは、Digital(デジタル) Print(プリント) Order(オーダー) Format(フォーマット)の略です。カードの画像にプリント情報などを付加します。DPOF 情報は、DPOF 対応機器で使用できます。
●他機で DPOF 設定すると、本機では認識しないことがあります。DPOF 設定は本機で設定してください。
●DPOF 設定を行う(解除する)ファイル数が多い場合、時間がかかります。

■ 付属のソフトで作ったスライドショーを楽しむ(P. スライドショー)(P44)

●他機で記録した静止画など、ファイルによってはスライドショーの再生時間が長くなります。
●P. スライドショーのデータがカードに記録されていないときは、ファイル一覧画面に戻ります。

■ カードをフォーマットする(P47)

●フォーマット中は電源を切ったりカードを抜いたりしないでください。カードが破壊されるおそれがあります。
●パソコン(のエクスプローラ)でフォーマットしないでください。本機で認識しなくなる場合があります。パソコンでフォーマットする場合は、SD オーディオ PC レコーディングソフト SH-SS10 (SD-Jukebox Ver. 3.0)(別売)(P34)で行ってください。
●フォーマットは本機または SD オーディオ PC レコーディングソフト SH-SS10 (SD-Jukebox Ver. 3.0)(別売)(P34)で行ってください。特に、音楽ファイルが入ったカードは音楽ファイルを記録した SD-Jukebox Ver. 3.0 を使用し、チェックインしたあとにフォーマットしてください。(詳しくは、SD-Jukebox Ver. 3.0 の説明書をお読みください)
●本機以外でフォーマットされたカードは使えない場合があります。また、本機でフォーマットしたカードは、他の機器で使えない場合があります。 使用する機器側でフォーマットしてください。

故障と思ったら(お願い・ヒント/Q&A)(つづき)

■ カード内のデータについて(P49)

●カードをフォーマットするときは、本機または、SD-Jukebox Ver. 3.0 でフォーマットしてください。
●パソコン上で動画を再生すると、上下に黒い帯が出ることがありますが、異常ではありません。
●[SD_VOICE] フォルダーやフォルダー内のボイス音声ファイル、[SD_AUDIO] フォルダーは隠しファイルに設定されています。パソコンの設定によっては、これらのフォルダーやファイルはエクスプローラやマイコンピュータの画面に表示されません。
●MPEG4 動画のファイル名は 16 進数の連番で付けられます。(例 00A=10 です)
●パソコン上で本機未対応のデータを記録した場合、本機では認識できません。
●[DCIM]、[SD_VIDEO]、[SD_VOICE] などはフォルダーの構成上必要ですので消去しないでください。
●MPEG4 動画(ASF 形式)ファイルは、Windows Media Player(Ver.6.4 以降)で再生できますが、音声が出ない場合は専用のソフトウェア(G.726)をダウンロードする必要があります。(付属の CD-ROM 内の SD-MovieStage をインストールすると、同時にインストールされます)
●MPEG4 動画ファイルを電子メールなどで送付した場合、再生するには受信側で Windows Media Player(Ver.6.4 以降)が必要です。

■ パソコンと接続する(P52)

●付属の USB ケーブル以外は使わないでください。
●パソコンとの接続中に AC アダプターを抜かないでください。
●パソコンの電源を切っても、本機のパソコン専用モード(USB CONNECTING と表示されます)が解除されない場合は、USB ケーブルを外してください。
●本機とパソコンを接続中に、パソコンがサスペンド状態になると、サスペンドから復帰したときに、パソコン側で本機を認識しなくなることがあります。このときはパソコンを再起動してください。

■ SD-MovieStage を起動する(P52)

●PDF 説明書を読むためには Adobe Acrobat Reader 5.0 以上が必要です。(CD-ROM に同梱されています)ご使用のパソコンにインストールされていない場合は、CD- ROM 内の[Acrobat Reader] フォルダーの[ar505jpn.exe] をダブルクリックし、メッセージに従って Adobe Acrobat Reader 5.0 をインストールしてください。
●カード内のフォルダーをパソコン上で消去しないでください。本機でカードが読み込めなくなる場合があります。
●NTFS 形式でフォーマットしたカードを本機に入れて、パソコンと USB 接続すると、カード動作中ランプが点灯したままになります。この場合、[Administrator(コンピュータの管理者)](もしくはこれと同等の権限を持つユーザー名)にしてログオンし、マイコンピュータからリムーバブルディスクアイコンを右クリックして、[取り出し] を選び、カード動作中ランプが消灯したのを確認してから、カードを取り出してください。

Q&A

1:　電源が入らない。

1-1: バッテリーやACアダプターは正しく接続されていますか。接続を確認してみてください。

1-2: バッテリーは十分に充電されていますか。十分に充電されたバッテリーをお使いください。

2:　電源が入っていてもすぐに切れる。

2:　バッテリーが消耗していませんか。バッテリーを充電するか、十分に充電されたバッテリーを付けてください。

3:　記録できない。

3-1: カードが入っていますか。

3-2: SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていると記録できません。

3-3: カードの容量は十分ですか。不要なデータは消去してください。

4:　静止画がきれいに撮れない。

4:　[静止画画質]を [ノーマル] や [エコノミー] にして、細かいものを記録すると、画像がモザイク状になることがあります。[ファイン] にして記録してください。

5:　映像や音声がおかしい。

5:　データが壊れている可能性があります。データは静電気や電磁波で壊れることがあります。大切なデータはパソコンなどにも保存してください。

6:　動画や静止画の記録時間・枚数が本書の記載と大幅に異なる

6-1: 記録される画像によって、記録時間・枚数は変動します。

6-2: 動画、静止画、音声、音楽のファイルを 1 枚のカードで使用すると、所定の記録時間・枚数よりも少なくなります。

7:　カード再生中やファイル一覧画面に [×] マークが表示される。

7:　形式の異なるデータや壊れたデータです。このようなデータは再生できません。

8:　カードをフォーマットしても使えない。

8:　本機、またはカードの故障と思われます。お買い上げの販売店にご相談ください。

9:　テレビと接続しても、映像が出ない。

9-1: 正しく接続してください。また接続コードは付属のものをお使いください。

9-2: 本機が［REC］モードになっていると、表示されません。

9-3: AV クレードルの AV 出力切換スイッチが [LCD MONITOR] になっていると、テレビなどに映像が表示されません。また、AV クレードルの AV 入力切換スイッチが［AV IN → AV OUT］になっているときも表示されません。

10: 再生・記録ができず、画面が動かなくなった。

10:　電源を［切］にしてください。それでも電源が切れないときは、バッテリー、ＡＣ アダプターを抜いてください。そのあと電源を入れ直してください。
それでも正常に動作しない場合は、接続している電源を外し、お買い上げの販売店、またはお近くの「修理ご相談窓口」（P81 ～ 83）にお問い合わせください。

故障と思ったら(お願い・ヒント/Q&A)(つづき)

11: 静止画の再生時に、ステレオインサイドホンを接続しても、音声が聞こえない。

11: 静止画モード（静止画の記録時・再生時）は音声は聞こえません。

12: 音声(VOICE)ファイルや音楽ファイルを聞いていたら、急に液晶モニターが消灯した。

12-1:本機で音声ファイルの記録・再生を行うと、約5秒後に液晶モニターが消灯します。[▶ SET] ボタンを押すと点灯しますが、何も操作しなければ、約5秒後に再び消灯します。液晶モニターは、再生終了後(または一時停止中)に点灯します。

12-2:メニューで[パワーセーブ]を[入]にすると、音楽ファイルの再生後、約 5 秒で液晶モニターが消灯します。

13: 記録した MPEG4 動画映像を電子メールで送りたい。

13: 本機で記録した映像をパソコンなどに取り込んで、電子メールに添付すると送ることができます。（付属のソフトSD-MovieStageを使うと便利です）この場合、ファイルサイズの容量を1MB程度にすることをおすすめします。1MB の MPEG4 動画ファイルの記録時間は、SF（スーパーファイン）：約 8 秒、F（ファイン）：約 15 秒、N（ノーマル）：約 20 秒、E（エコノミー）：約 60 秒です。（電子メールで送れるファイル容量の上限はお使いの環境によって異なります）
MPEG4 動画ファイルを電子メールなどで送付した場合、再生するには受信側で Windows Media Player（Ver. 6.4 以降）が必要です。音声が出ない場合は専用のソフトウェア（G.726）をダウンロードする必要があります。Windows Media Player にはこのソフトの自動ダウンロード機能があります。インターネットに接続し、MPEG4 動画ファイルをダブルクリックすると、ソフトウェアが自動的にダウンロードされます。（Mac OS で再生する場合は、Windows Media Player for Macintoshが必要です）

14: USB ケーブルを接続すると、Windows の［デバイスマネージャ］の［USB 大容量記憶装置デバイス］に緑色の［?］マークが表示される

14: USB ドライバー（付属）をインストールせずに接続すると、OS によっては［？］が表示されます。USB ケーブルを本機から抜いて、P49 の手順でUSBドライバーをインストールすると表示されなくなります。

15: Windows Me使用時に、USBケーブルを抜くと、［デバイスの取り外しの警告］が表示された。

15: Windows　Me を使用している場合、USB ドライバー（付属）をインストールせずに接続していると、USB ケーブルをそのまま抜いたときに警告メッセージが表示されます。USB ドライバーをインストールすると表示されなくなります。
（Windows 2000、Windows XP をお使いの場合は、P53の手順に従って、USB ケーブルを外してください）

16: 画面に赤や青、緑、白の点が現れた。

16-1:液晶モニターの画面上には　0.01%以下の割合で、画素欠けや常時点灯するものがありますが、故障ではありません。（P59）

16-2:長時間連続で使用したり、周囲の温度が高いところで使用した場合に、本機内部の温度が上がり、画面に赤や青、緑、白の点が現れて静止画撮影時に記録されることがあります。これは C-MOS センサーの特質によるものであり、故障ではありません。
このときは本機の電源を切り、しばらく放置してください。

C-MOS センサーは、小型で低消費電力という特性から、CCD に続く次世代撮像素子と言われています。

17: 本機で記録した音声（VOICE）をパソコンや他機で再生したい。

17: 音声データ（VOICE）は SD-MovieStage Ver. 2.0（付属）で再生できます。音楽再生（MPEG2-AAC/MP3 形式の音楽データの再生）機能搭載の当社製デジタルビデオカメラなどでは再生できません。（2002 年 11 月現在）

18: 旧バージョンの SD-Jukebox を持っているのですが・・・

18-1:旧バージョンの SD-Jukebox で記録した音楽ファイルも本機で再生できますが、静止画を関連付けして、再生することはできません。

18-2:SD オーディオ PC レコーディングキット /SH-SSK1 に付属の SD-Jukebox をアンインストールした場合、本機の USB ドライバーも同時にアンインストールされます。この場合、本機の USB ドライバーを再度インストールしてください。

パソコン接続時のお願い (Windows 98SE 使用時)

USBドライバーをインストールし、最初に本機をパソコンと接続したときに、[新しいハードウェアの追加ウィザード]画面が表示される場合があります。
以下の方法で操作を完了すると、パソコン側で本機を認識できます。

1 [次へ] をクリックする

2 [使用中のデバイスに最適なドライバーを検索する]が選ばれていることを確認し、[次へ]をクリックする

3 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROM ドライブに入れる

●インストール画面が表示された場合は、[終了]をクリックします。

4 [検索場所の指定]のみを選び、[参照]をクリックする

5 CD-ROM　アイコンをダブルクリックし、[USB Driver]をダブルクリックし、[files]をクリックして[OK]をクリックする

●手順 **4** で[参照]をクリックせず「E:¥USB Driver¥files」(CD-ROMドライブが E のとき)と入力しての指定もできます。

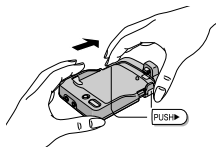
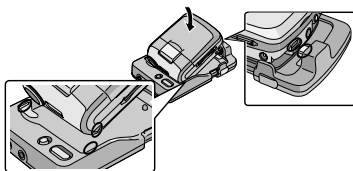
6 [次へ]をクリックする

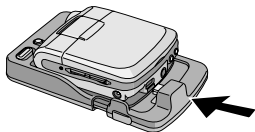
7 [次へ]をクリックする

8 [完了]をクリックする

Operating Instructions

■Fitting on the AV cradle

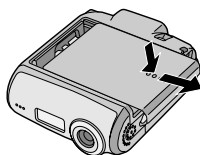
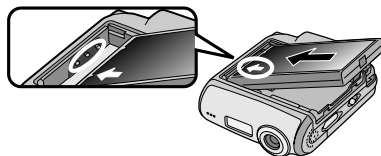
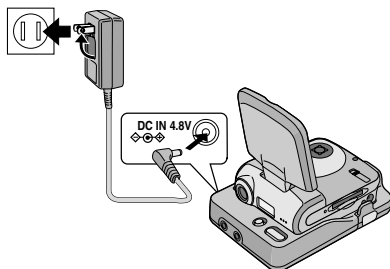
❶ **While pressing PUSH▶, extend the AV cradle.**

❷ **Place the SD Multi Camera on the AV cradle.**

● Place the SD Multi Camera on the AV cradle so that the mating connectors are in alignment.

❸ **Push the SD Multi Camera until you hear it clicks.**

❹ **Connect the AC Adaptor to the AC main socket.**

❺ **Connect the DC Input Lead to the [DC IN 4.8V] socket on the AV Cradle. (Refer to the Figure on the right.)**

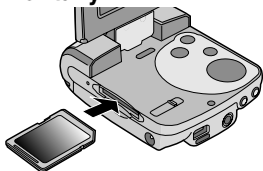
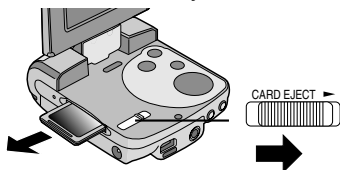
● The SD Multi Camera is ready for use.

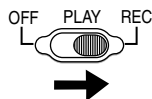
■Using the Battery

❶ **While holding the ○○○▷ part, slide it to remove the Battery Compartment Cover.**

❷ **Set the battery into the battery holder so that the arrow marks are in alignment, thus the terminals on the battery are aligned with those of the battery holder.**

❸ **Connect the DC Input Lead to the [DC IN 4.8V] socket on the AV Cradle to charge the Battery.**

● Note that the power of the SD Multi Camera is turned [OFF].

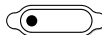
Operating Instructions (Cont.)

■Insert a SD Memory Card

❶ **Insert the SD Memory Card fully into the Memory Card Slot horizontally.**

● If you remove the SD Memory Card, slide the lever to the right and pull out the SD Memory Card.

■Recording the Still Image/Moving Picture/ Voice

❶ **Slide the [OFF/PLAY/REC] switch to [REC].**

❷ **Press the [MODE] button until the desired mode is selected.**

● Pressing the [MODE] button switches the modes consecutively.

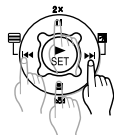
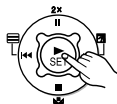
❸ **Press the Recording Start/Stop button.**

● Press the Recording Start/Stop button again to stop recording.

■Playing the Still Image/Moving Picture/ Voice/Music

❶ **Slide the [OFF/PLAY/REC] switch to [PLAY].**

❷ **Press the [MODE] button until the desired mode is selected.**

● Pressing the [MODE] button switches the modes consecutively.

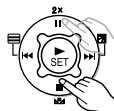
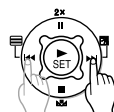
❸ **Select a file by pressing the UP, DOWN, LEFT and/or RIGHT side of the Multi-function button.**

❹ **Press the [▶ SET] button.**

● Pressing the DOWN side of the Multi-function button stops playing and the list screen reverts.

■Using the Menu Screen

❶ **Select a desired mode.**

❷ **Press the [MENU] button.**

● The Menu screen is displayed.

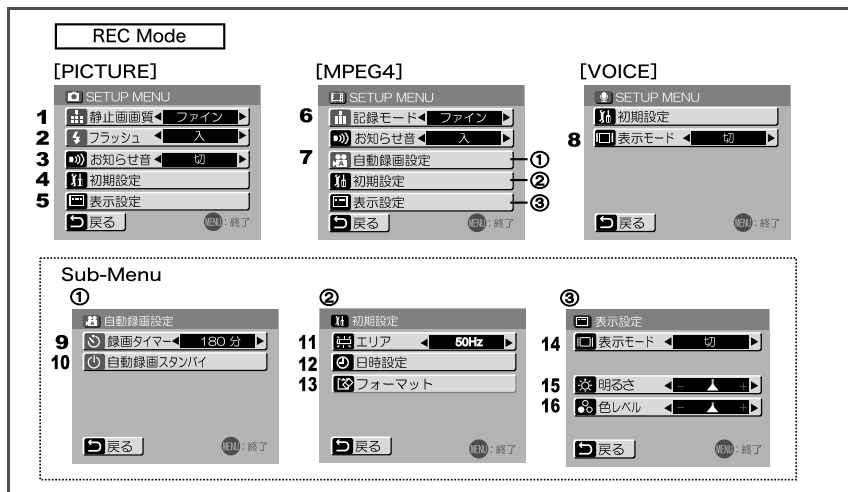
❸ **Select an item by pressing the UP or DOWN side of the Multi-function button.**

❹ **Set the item by pressing the LEFT or RIGHT side of the Multi-function button.**

● Some items require a transition to the Sub-menu by pressing [▶ SET] for setting.

❺ **Press the [MENU] button.**

● The Menu screen goes OFF.

Operating Instructions (Cont.)

■Menu List

The following is a list of menus available on the SD Multi Camera.

Record mode [REC]

1 Still Image Quality [静止画画質]

Sets the quality of the still image to be recorded. Select [ファイン] for the highest image quality. The other image qualities are [ノーマル] and [エコノミー].

2 Flash [フラッシュ]

Select [入] to activate the flash when taking still images. Select [切] to deactivate the flash. Select [オート] to automatically activate the flash when necessary.

3 Beeper [お知らせ音]

The beeper sounds at the time of recording, stopping, etc.
If this is set to [切], the beeper will not sound.

4 Initial Setting [初期設定]

5 Display Setting [表示設定]

6 Record mode [記録モード]

Sets the image quality when an image is recorded in the MPEG4 format. Select [スーパーファイン] for the highest image quality. The other image qualities are [ファイン], [ノーマル], and [エコノミー].

7 Automatic Record Setting [自動録画設定]

8 Display Mode [表示モード]

Turns the screen display ON or OFF. If the video signal from the external devices is recorded when this mode is turned [入], the screen display (superimposed characters) is also recorded.

Sub-Menu

9 Record Timer [録画タイマー]

During automatic recording, the recording automatically stops after the time set has elapsed.

10 Automatic Record Standby [自動録画スタンバイ]

When the video signal is input from external devices, recording automatically starts. The AV cradle is necessary to use this function.

11 Area Setting [エリア]

Set to either [50Hz] or [60Hz] in accordance with the power supply frequency available in the area where the SD Multi Camera is used. If this is incorrectly set, the image taken may have horizontal bright/dark stripes.

12 Date and Time Setting [日時設定]

Year, month, day, and time are not set when you purchase the SD Multi Camera. Set the year, month, day, and time before using it.

13 Format [フォーマット]

Normally, it is not necessary to format a Card. Format it if you wish to erase all the data (files) on the Card.

14 Display Mode [表示モード]

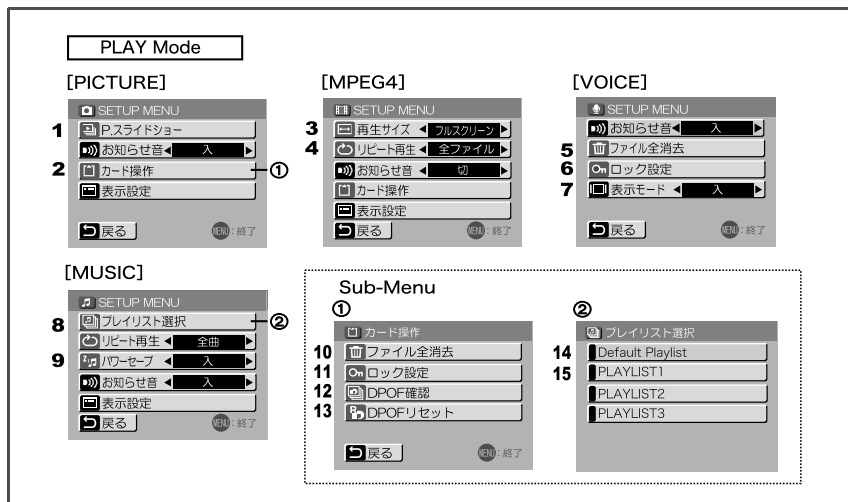
Turns the screen display ON or OFF. If the video signal from the external devices is recorded when this mode is turned [入], the screen display (superimposed characters) is also recorded.

15 Brightness [明るさ]

This sets the brightness of the LCD monitor. This setting does not affect the images actually recorded.

16 Color Level [色レベル]

This sets the color level of the LCD monitor. This setting does not affect the images actually recorded.

Operating Instructions (Cont.)

Play Mode [PLAY]

1　P.Slideshow [P. スライドショー]

Plays the still images for approx. five seconds each based on the slideshow set by SD-MovieStage (supplied).

2　Card Operation [カード操作]

3　Play Size [再生サイズ]

Sets the image size of the MPEG moving images. Set to [フルスクリーン] to display the image on the entire screen. (The image quality is inferior to the one in [ノーマル] play.)

4　Repeat Play [リピート再生]

Plays a file (or files) repeatedly. Select [1 ファイル] to play it repeatedly. Select [全ファイル] to play all of them repeatedly.

5　All Files Erase [ファイル全消去]

Erases all the files in the mode in use. If you wish to erase only one image, press the [MENU] button several times while the image to be erased is being played (or play is being paused) until [ファイル消去] is displayed, then press [▶ SET].

6 Lock Setting [ロック設定]

Locks all the files in the mode in use to avoid accidental erasure. If you wish to lock only one image, press the [MENU] button several times while the image to be locked is being played (or play is being paused) until [ファイルロック] is displayed, then press [▶ SET].

7 Display Mode [表示モード]

Turns the screen display ON or OFF.

8 Playlist Selection [プレイリスト選択]

If one or more playlists are recorded on the Card, select a playlist to be played. This unit does not allow playlists to be set. Use the software supplied.

9 Power Save [パワーセーブ]

When this mode is turned [入], the monitor is turned off after playing a music file for approx.5 seconds.

10 All File Erase [ファイル全消去]

Erases all the files in the mode in use. If you wish to erase only one image, press the [MENU] button several times while the image to be erased is being played (or play is being paused) until [ファイル消去] is displayed, then press [▶ SET].

11 Lock Setting [ロック設定]

Locks all the files in the mode in use to avoid accidental erasure. If you wish to lock only one image, press the [MENU] button several times while the image to be locked is being played (or play is being paused) until [ファイルロック] is displayed, then press [▶ SET].

12 DPOF Check [DPOF 確認]

Plays each DPOF-set file for approx. 5 seconds. If you wish to DPOF-set an image, press the [MENU] button several times while the image to be DPOF-set is being played until [DPOF 設定] is displayed, then press [▶ SET].

13 DPOF Reset [DPOF リセット]

Select [DPOF リセット] to cancel the DPOF setting for all files.

14 Default Playlist [Default Playlist]

Plays all the music files recorded using SH-SS10 (SD-Jukebox Ver. 3.0) (optional)
The "PLAYLIST" or "Default Playlist" displayed on the menu screen varies according to the setting on the SD-Jukebox Ver. 3.0.

15 PLAYLIST [PLAYLIST1]

When playlists are set for the music files recorded using SH-SS10 (SD-Jukebox Ver. 3.0) (optional), you can select your favorite playlist and listen to it.
The "PLAYLIST" or "Default Playlist" displayed on the menu screen varies according to the setting on the SD-Jukebox Ver. 3.0.

仕様

SD マルチカメラ

電源	AC アダプター使用時	:DC 4.8 V
	バッテリー使用時	:DC 3.7 V
消費電力	AC アダプター使用時	:2.3 W
	バッテリー使用時	:2.1 W

撮像素子	1/4 型 C-MOS 撮像素子　RGB 原色フィルター内蔵
画素数	総画素数:約 35 万画素(有効画素数:約 31 万画素)
走査方式	525 本　30 フレーム
標準被写体照度	1400 ルクス
最低照度	60 ルクス
焦点距離	3.55 mm
ズーム比	デジタルズーム 2 倍
F 値	2.35
最短撮像距離	レンズ前面より約 50 cm
モニター	5 cm (2 型) 液晶モニター (約 20 万画素)
ビデオフラッシュ	GN 3 相当(内蔵)
記録メディア	SD メモリーカード
動画録再	SF(スーパーファイン):320 × 240 ドット (映像約 768 kbps+ 音声約 32 kbps) F(ファイン):　320 × 240 ドット (映像約 384 kbps+ 音声約 32 kbps) N(ノーマル):　176 × 144 ドット (映像約 180 kbps+ 音声約 32 kbps) E(エコノミー):　176 × 144　ドット (映像約 64 kbps+ 音声約 32 kbps)
静止画圧縮形式	JPEG 準拠
動画圧縮形式	MPEG4 準拠
音声圧縮方式	G.726 準拠
音楽伸張方式	MPEG2-AAC/MP3 (サンプリング周波数　32k、44.1k、48k 対応)
映像入出力	NTSC 方式　525 本　60 フィールド※ 1.0 Vp-p　75 Ω ※　AV ミニジャック
音声入力	マイク:　モノラルマイクロホン (内蔵) ライン:　入力インピーダンス 10 kΩ 以上※ AV ミニジャック

音声出力	ヘッドホン 出力:5 mW+5 mW 負荷インピーダンス 16 Ω ライン: 負荷インピーダンス 10 kΩ 以上※ AV ミニジャック
外形寸法	約 幅 61.7 ×高さ 25.9 ×奥行 74.6 mm
本体質量	約 95 g (バッテリーパック、SD メモリーカード含まず)
使用時質量	約 122 g
推奨使用温度	0 ～ 40 ℃
許容相対湿度	10 ～ 80 %
バッテリー持続時間	連続使用:約 90 分 (MPEG4 動画記録時) (付属のバッテリーパック使用時)

※ AV クレードル装着時

AC アダプター

電源	AC100 – 240 V 50/60 Hz
入力容量	12 VA (100 V 時)/17 VA (240 V 時)
出力	DC 4.8 V 1.0 A

質量	約 60 g
外形寸法	約幅 50 ×高さ 26 ×奥行 70 mm

バッテリーパック

最大電圧	DC 4.2 V
公称電圧	DC 3.7 V
定格容量	1000 mAh

質量	約 28 g
外形寸法	約幅 36 ×高さ 7 ×奥行 53 mm

保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

● 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
● その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■ **保証書(別添付)**

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間:お買い上げ日から本体1年間

「本体」にはCD-ROMは含みません

■ **補修用性能部品の保有期間**

当社は、このSDマルチカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ **修理を依頼されるとき**

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	SDマルチカメラ
品　番	SV-AV30
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

● **保証期間中は**

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

● **保証期間を過ぎているときは**

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

● **修理料金の仕組み**

修理料金 は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時〜20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187

FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉

Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

ナショナル／パナソニック　修 理 ご 相 談 窓 口

北 海 道 地 区

札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251	**帯広**	帯広市西19条南1丁目7-11 ☎ (0155)33-8477	**函館**	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎ (0138)48-6631
旭川	旭川市2条通21丁目左1号 ☎ (0166)31-6151				

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

東北地区

青森 青森市第二問屋町3-7-10 ☎(017)739-9712	**岩手** 盛岡市羽場13地割30-3 ☎(019)639-5120	**山形** 山形市流通センター3丁目12-2 ☎(023)641-8100
秋田 秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎(018)826-1600	**宮城** 仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117	**福島** 福島県安達郡本宮町字南ノ内65 ☎(0243)34-1301

首都圏地区

栃木 宇都宮市御幸町194-20 ☎(028)689-2555	**埼玉** 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960	**山梨** 甲府市下飯田2丁目1-27 ☎(055)222-5171
群馬 高崎市大沢町229-1 ☎(027)352-1109	**千葉** 千葉市中央区星久喜町172 ☎(043)208-6011	**神奈川** 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
水戸 水戸市柳河町309-2 ☎(029)225-0249	**東京** 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780	**新潟** 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-0171
つくば つくば市花畑2丁目8-1 ☎(0298)64-8756		

中部地区

石川 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683	**長野** 松本市大字笹賀7600-7 ☎(0263)86-9209	**岡崎** 岡崎市岡町南久保28 ☎(0564)55-5719
富山 富山市寺島1298 ☎(076)432-8705	**静岡** 静岡市西島765 ☎(054)287-9000	**岐阜** 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎(058)323-6010
福井 福井市開発4丁目112 ☎(0776)54-5606	**名古屋** 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225	**高山** 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
		三重 久居市森町字北谷1920-3 ☎(059)255-1380

近畿地区

滋賀 守山市勝部6丁目2-1 ☎(077)582-5021	**大阪** 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225	**和歌山** 和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
京都 京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎(075)672-9636	**奈良** 大和郡山市椎木町404-2 ☎(0743)59-2770	**兵庫** 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

ナショナル／パナソニック 修 理 ご 相 談 窓 口

中 国 地 区

鳥取 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695	**出雲** 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133	**広島** 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎(082)295-5011
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129	**浜田** 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629	**山口** 山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23 ☎(083)986-4050
松江 松江市平成町182番地14 ☎(0852)23-1128	**岡山** 岡山県都窪郡早島町矢尾807 ☎(086)292-1162	

四 国 地 区

香川 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-9477	**高知** 南国市岡豊町中島331-1 ☎(088)866-3142	**愛媛** 松山市土居田町750-2 ☎(089)971-2144
徳島 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108 ☎(088)698-1125		

九 州 地 区

福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036	**大分** 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815	**天草** 本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
佐賀 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151	**宮崎** 宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2 ☎(0985)85-6530	**鹿児島** 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
長崎 長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658	**熊本** 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067	**大島** 名瀬市長浜町10-1 ☎(0997)53-5101

沖 縄 地 区

沖縄 浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0902

この取扱説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

愛情点検　**長年ご使用のSDマルチカメラの点検を！**

こんな症状はありませんか	・電源コードやプラグが異常に熱い ・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・水や異物が入った ・映像が乱れたり、きれいに映らない ・その他の異常や故障がある

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、
電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に
点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	SV-AV30
販　売　店　名	☎（　　）		
お客様ご相談窓口	☎（　　）		

松下電器産業株式会社
AVCネットワーク事業グループ
〒571－8505　大阪府門真市松生町1番4号
システム事業グループ
〒571－8503　大阪府門真市松葉町2番15号

F1102Mk1112（ 8500 Ⓑ）

Panasonic　SDマルチカメラ　SV-AV30　取扱説明書